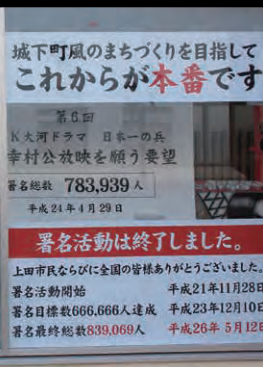
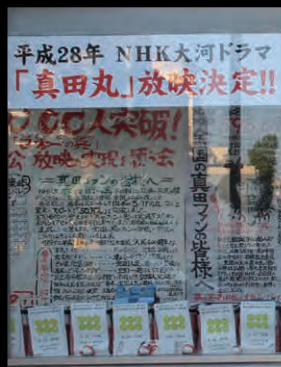


ひのものといち
日本一の秋まつり 眞田幸村公出陣ねふた実行委員会
 ひのものといち つわもの
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会

活動記録集

平成21年(2009)8月 ~ 平成29年(2017)3月



発行 日本一の秋まつり 眞田幸村公出陣ねふた実行委員会
 NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会

目 次

挨拶	2
日本一の秋まつり(夏まつり) 眞田幸村公出陣ねふた実行委員会 趣旨	4
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会 軌跡	5
日本一の秋まつり(夏まつり) 眞田幸村公出陣ねふた実行委員会 ねふた図面	6
日本一の秋まつり(夏まつり) 眞田幸村公出陣ねふた実行委員会 軌跡	8
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会設立趣意書	24
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会 規約	25
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の要望・署名用紙	26
役員名簿	27
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う要望書	28
NHK大河ドラマ『真田丸』放映決定の御礼・署名御礼状	34
大河ドラマ『真田丸』放映決定に伴う市民アンケート・市民アンケート結果市長等要望書(概略版)	36
長野高等学校新聞部「長高新聞」	40
上田市立第三中学校 総合的な学習「地域自慢発見の旅」(ねふた)	41
大河ドラマ『真田丸』放送にかかる主な事業の数値実績	42
感謝状・表彰状	43
NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会 解散宣言	44
解散式に寄せられた眞田氏所縁の地からのメッセージ	45



市民による市民の新しいまつり
 第7回 日本一の秋まつり 真田幸村公出陣ねぶた 平成28年(2016)9月3日(土)

NHK大河ドラマ 日本一(ひのもと)の兵(つわもの)

【平成26年5月12日最終】

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
 真田幸村公 放映の実現を願う会 署名集計地図

839,069人

○ NHK 要望 経過

- ・ 平成21年 12月 1日 署名スタート
- ・ 平成21年 12月17日 第一回NHK要望
- ・ 平成22年 4月12日 (66,666人) 第二回NHK要望
- ・ 平成22年 8月31日 (166,666人) 第三回NHK要望
- ・ 平成23年 5月 2日 (466,666人) 第四回NHK要望
- ・ 平成23年 10月27日 (606,666人) 第五回NHK要望
- ・ 平成23年 12月10日 (666,666人) 署名目標数達成
- ・ 平成24年 4月26日 (783,939人) 第六回NHK要望
- ・ 平成25年 12月26日 (828,226人) 第七回NHK要望
- ・ 平成26年 5月12日 (839,069人) 放映決定成る!

『七重八重、地元の願い、桜咲く』
『八重桜丸 大海原へ向く』

北海道
18,665

秋田	青森
10,627	5,987
山形	岩手
5,139	5,270
福島	宮城
10,055	27,858
群馬	栃木
31,094	7,791

山口	島根	鳥取	兵庫	京都	福井	石川	富山	新潟	埼玉	茨城	
2,476	1,645	1,378	16,980	7,293	2,487	5,876	3,892	15,379	27,433	9,966	
佐賀	福岡	広島	岡山	大阪	奈良	滋賀	岐阜	長野	山梨	東京	千葉
2,152	12,010	5,887	2,122	44,434	3,272	3,672	13,448	295,570	6,451	69,136	19,414
長崎	大分		和歌山		三重	愛知	静岡		神奈川		
1,806	2,274		31,009		4,758	23,016	16,998		40,224		
熊本	宮崎	愛媛	香川								
3,998	5,116	1,866	1,435								
鹿児島		高知	徳島								
1,578		2,063	1,611								
海外											
1,612											
沖縄											
5,746											

NHK大河ドラマ日本一の兵 真田幸村公放映の実現を願う会 署名集計地図 (最終版)

初代会長 母袋 創一（上田市長）

大河ドラマ『真田丸』は、数々の話題の提供と平均視聴率 16.6%の高い数字を残し1年の航海を終えました。郷土の誇り眞田幸村公をTVで見たいと市民活動から始まった「願う会」が、平成21年11月に満場の参加者のもと設立され、初代会長をお引き受けしたことが、昨日の様に思い出されます。

以降、市民の情熱は全国真田ファンの共感を呼び、文字通り「真田紐」の如く強靱な絆を結びながら全都道府県より84万人もの署名を集めNHKに要望。結果願いが叶いドラマ化が実現しました。

早丸、『真田丸』ロス等の新語も生まれ三谷幸喜氏による脚本の力は、感動や勇気を呼び興してくれました。現出した多くの効果を今後のまちづくりに活かすため、市民一人ひとりが「抜かりなく」おもてなしの心を持続してまいりましょう。

最後に、市民の皆様、全国真田ファンの皆様には引き続きの御支援と御協力を宜しくお願い申し上げます。

二代会長 宮下 茂（前上田商工会議所会頭）

通算8回にわたるNHK要望活動の中での、一番の思い出は、平成24年4月のNHK松本会長への面会でした。

いつも持参する真田紐で結わえた署名の束を目にした会長から、「毎回、増え続ける署名数と皆様の熱意には、大きなプレッシャーを感じます。」という御発言がありました。私はすかさず、「私の生業は、^{なりわい}世界一のプレッシャーメーカーです！」と申し上げたのです。

このときの会長の驚いた御顔には、「放送決定」の4文字が明確に見えました。

城下町の祖眞田昌幸公は、卓越した智略を持ち2度にわたり徳川の大軍から郷土を守り、DNAを受継ぐ幸村公最期の戦いから、400年の時は流れ「地方創生」と叫ばれる中、大河ドラマ『真田丸』は、自らの郷土に誇りを持ち、郷土のために何が出来るのかを考える大きな指針となりました。

こうした契機となったのは、市民活動を原点とする「願う会」であったことは、大きな意味があります。

明日のまちづくりに、「おのおの抜かりなく！」そして、「望みを捨てぬ者だけに道は開ける」のです。

三代会長 森 良則（上田観光コンベンション協会会長）

眞田一族の大河ドラマ実現を目指す市民活動との関わりは、平成21年11月、眞田神社での「眞田三代放映の実現を願う会設立準備会」で会長をお引き受けしたことからです。

その後、民間主導の「NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会（以下「願う会」。）」として発足し、母袋初代会長、宮下第二代会長とバトンを繋ぎ、三代会長をお引き受けしました。

願う会は、大河ドラマ放送実現を通じて、城下町上田のまちづくりを目指して、眞田軍の如く、^{いっきかせい}一気呵成に、全国に向けた署名活動の展開や全国発信を目指して昨年まで7回を数えた「日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた」を行い、地域の活性化に努めて参りました。

平成26年5月12日の大河ドラマ『真田丸』決定は、「市民の力による大河ドラマの実現」という画期的な出来事として、一生忘れられない思い出となりました。

大河ドラマの実現を導いた自信と誇りをもって、明日の城下町の伝統と風格を未来に繋げてまいりましょう。

発起人代表 NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会 城代家老 宮下省二

平成18年4月、4市町村が合併して新生上田市が誕生し、新たな活性化策が求められていました。その一つとして、平成21年11月28日、市民主体により結成された「NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会」では、NHK大河ドラマの放送を眞田六文銭に因み、六が六つ並びの署名目標数（66万6666）を掲げ、当時不可能とされた全国展開を決めると共に、3年以内の目標達成を目指して活動に入りました。翌年8月、NHK大河ドラマ署名促進の観点から眞田幸村公による町づくりを標榜し、かつて市が導入を検討したねぷた祭りを「眞田幸村公出陣ねぷた」と称して開催いたしました。この間、上小建設労働組合（細井武夫組合長）の皆さんには、ねぷた本体の製作を担当していただきました。ねぷた絵は、本場弘前市へ竹鼻靖之・照井正夫両氏が出向いて習得され、小・中・高の児童生徒の皆さん等に熱心にご指導をしていただきました。ねぷた祭りは、夏祭り1回、秋祭り6回の計7回開催しましたが、第1回目では、現世界女子スピードスケート500mチャンピオン小平奈緒選手から元気が出るスピーチをいただき、その後、上田駅にメイン会場を移し信州眞田鉄砲隊の演武（於：旧イトーヨーカ堂跡地）等を行ない、新たな話題を提供しながら実施いたしました。また、松代の眞田まつり槍振り保存会を始め眞田氏関係団体や太鼓団体、長野計器(株)、上田日本無線(株)など市内企業、市消防団、民踊連合会、壮年ソフト神川リーグ、スポーツ少年団等多数の団体、そして大勢の市民の皆さんにご参加をいただき盛大に開催いたしました。ねぷたは、木曾義仲信州丸子会や常田凧保存会並びに上田原及び諏訪形自治会、家氏隊、上田商工会議所青年部等に加わっていただきました。ねぷた祭りのあり方については、開催当初から市に対し市内行事全般の中で誘客が促進できる合同イベントの開催を要望して参りました。しかし、他のイベントとの連携は大変難しいとの最終的な判断が示され、また、ねぷた本体のいたみもあり大河ドラマ終了を機に断腸の思いでねぷた祭りを終了することにいたしました。ご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

一方NHK大河ドラマの誘致活動は、大勢の皆さんの地域を愛する情熱とご努力によって大きなうねりを起こした結果、誰もが想像でき得ない3年以内での署名目標数を達成し、最終的にはNHK関係者いわく「驚異的な期間で驚異的な署名数」となって83万人余の署名を積み上げることができました。この署名活動により眞田人気の高さを実証させたことが、NHK側に放送を決断させた原動力になったと思います。願う会では、放送が決まった平成26年、市内全戸対象のアンケート調査を実施し、市民の皆さんの関心の高さを示す24%のご回答をいただき、その内容を市へ要望を行ないました。しかし、放送が決定した以降行政主導が鮮明となり、市民と行政が共に汗を流して作り上げる市民協働のチャンスを見逃す結果となったことは課題として残りました。しかし市民力で上田地域の活性化を目指した活動は、大河ドラマ『眞田丸』の実現でその役割を果たしたと思います。テレビ平均視聴率16.6%、大河ドラマ館入館者数全国一の103万人。市内消費額67億円。テレビ放送に伴う知名度効果51億円。小説、雑誌等による効果十数億円などでありました。また、史跡や道路及び駐車場、案内看板やトイレ等の整備も行われ、更に観光ガイドやおもてなし武将隊等も大好評で観光地としての風格も格段に醸成されました。将来、本会の活動がまちづくり事業の参考になれば幸甚です。

結びにあたり長年にわたりご支援、ご協力を賜りました長野県様、上田市様、商工会議所様、自治会連合会様始め多くの企業、団体、グループの皆様、そして市民の皆様並びに全国のご支援をいただきました皆様に心から御礼を申し上げます。末筆で大変恐縮ですが、NHK大河ドラマ放映の要望に際して資料の作成に特にご尽力をいただきました土屋郁子・東井光司両氏に感謝申し上げますと共に本会並びにねぷた役員の皆様、長い間本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

ひのもといち

日本一の秋まつり（夏まつり）眞田幸村公出陣ねぶた（扇大燈籠）

【日本一の元気じるし 眞田パワーを体感しよう】

- 目 的
- (1) NHK大河ドラマ放映を実現するための署名の促進
 - (2) 上田城下町の活性化
 - (3) 上田地域の歴史的遺産の活用
 - (4) 眞田氏に関わった地域の一体感の醸成（松代町など）
 - (5) 参加者の6感（観る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・心）を満たす祭りの実現
 - (6) 城下町風町づくりの推進

趣 旨

眞田氏は上田地域にとって歴史的な大きな遺産であります。私たちは、その遺産を大切に守り、後世に伝えるべきイベントを企画実施しました。その名も日本一（ひのもといち）の夏まつり眞田幸村公出陣ねぶたであります。現代日本人が忘れかけている報恩の心、眞田幸村公の「智・仁・勇」を誇りとして、決して最後まであきらめる事なく、最後の最後まで目標に向かって全力を尽くして戦う、その様をこのお祭りで体感し、今後の新たなファイトの糧となるパワーとしていただければ幸甚であります。また、眞田氏は、地域の人々が和合し絆の深い城下町を造り上げました。私たちも、皆さんの力で新しいお祭りをつくり上げ、気持ちの一つにしたまちづくりを進めたいと考えております。

本祭の歴史的な背景

天正13年（1585年）8月2日、第一次上田合戦において徳川軍は大手門を突破（7千）本丸に殺到。ここで、眞田軍の前後左右からの攻撃をまともに受けた徳川軍は、混乱状態におちいり、我先に逃走。さらに道路に仕掛けられた「千鳥掛柵」により退路をふさがれた上、眞田軍の鉄砲隊、弓矢隊や民衆の部隊等によって甚大な被害を受け、神川のほとりに至った時、上流で堰を切ったため神川が一気に増水し、徳川軍は壊滅的な状態で軍を退いたといわれている。

また、慶長5年（1600年）9月6日、第二次上田合戦において関ヶ原に向かう徳川軍主力部隊（3万8千）は、上田城の大手門まで攻め入ったが、眞田軍得意のゲリラ戦法により反撃をうける。関ヶ原には戦（15日）が終わった19日になって到着し家康が激怒したと伝えられている。

◎時代考証…第二次上田合戦における眞田軍の反撃を『眞田出陣ねぶた』として行う。

※ねぶたまつりは、青森県弘前市ほか全国40数か所で行われ、関東圏では群馬県太田市、神奈川県小田原市等で開催されている。南は鹿児島県で開催。

※ねぶたとは、戦に勝ったあとの凱旋のまつりといわれ、ねぶたは、戦にのぞむ出陣のまつりといわれる。【諸説様々だが、弘前市ねぶた村担当者のお話です】

※徳川軍の攻撃を目前にした眞田氏は、武士を始め農民、町民など上田藩領民全員が一致結束の上出陣し、徳川軍を撃退したことから「ねぶた」のまつりとしている。

まつりのキャッチ・フレーズ 【粋で元気に華やかに】

○平成21年度

※平成21年（2009）8月26日 市民有志により眞田氏によるまちづくり発起人会発足。（6名）
（東井光司・中澤信敏・中村彰・堀内幸孝・宮下博一・宮下省二）

※平成21年11月4日 眞田三代放映の実現を願う設立準備会発足。（24名）
（池松勇樹・今井洋幸・岡崎光雄・金子哲也・島喜治・清水貞男・高橋幸夫・田口一郎・土屋郁子・東井光司・中澤信敏・中村彰・羽毛田久美子・原有紀・堀内幸孝・増澤智史・宮下博一・宮下省二・宮原千恵子・森良則・柳沢淳・山田豊）

※森良則氏準備会長に就任。

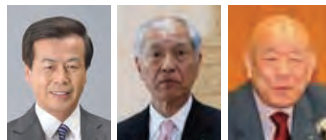


眞田神社社務所にて戦略を練る。
異例の神がかり的な発想が話題を呼ぶ。

・平成21年11月25日 設立準備会では上田市長に会長の就任依頼を行う。
※会の名称を眞田幸村公に改める。

※平成21年11月28日 NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会発足。（上田商工会議所5階）

会長に母袋創一氏
（上田市長）、顧問
に村井仁氏（長野県
知事）、副会長に宮下茂氏（上田商工会議所
会頭）等選出。



市民有志により活動がスタート。（230名）



当初 100 人程度の参加者が 200 人を超え、役員全員が手応えを得る。

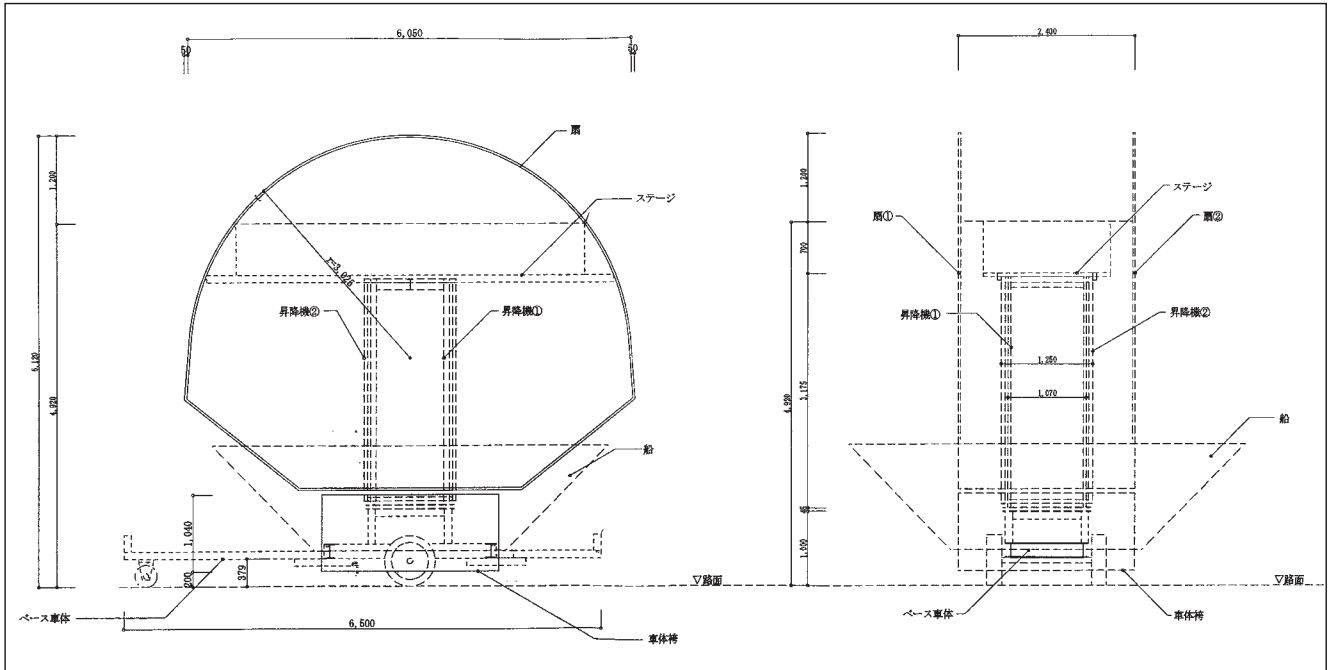


・平成21年12月16日 【上田市自治会連合会で署名活動が慎重審議の末、承認される】
※平成21年12月17日 第1回 NHK日向英実放送総局長へ要望（署名数なし）

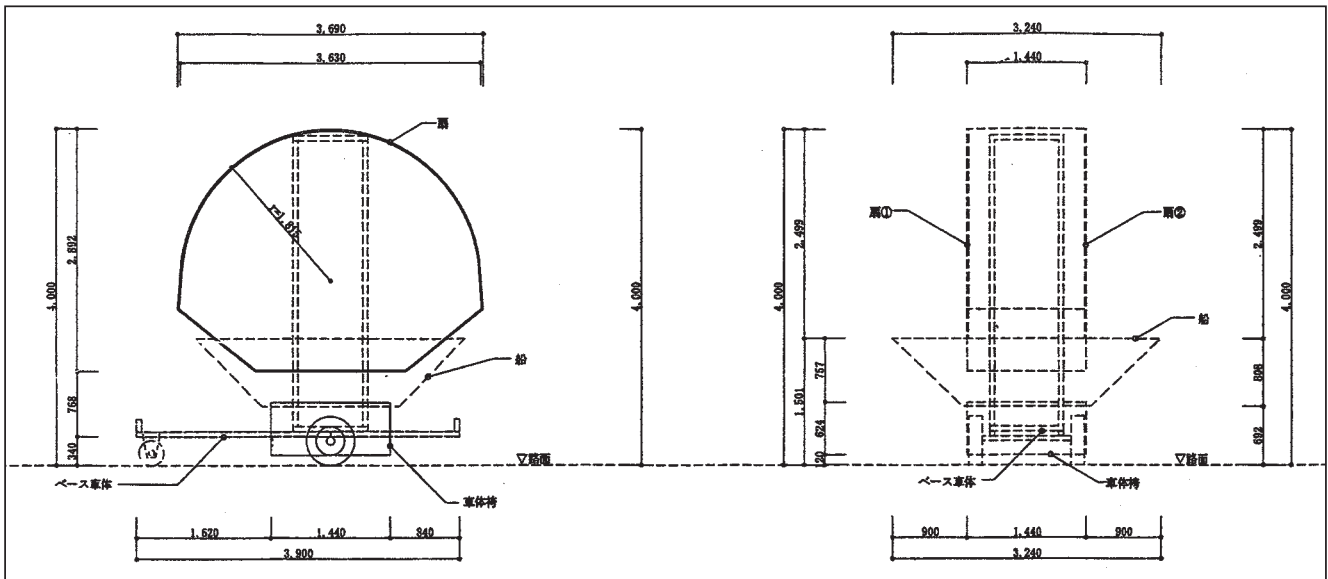


・平成21年12月22日 【群馬県沼田市、孺恋村等署名開始】

■大ねぶた



■中ねぶた



■ねぶた運行時の安全対策

1. ねぶたには、トラックなどで使われているブレーキが設置されています。
2. 行き（上り）と帰り（下り）の曳き手の配置を変えます。
3. 重量の軽い中・小ねぶたを常に傾斜の上側に配置した隊列を組みます。
4. 大人はねぶたの中央側、子ども等はその外側に曳き手の配置をします。（右図の●が子ども）

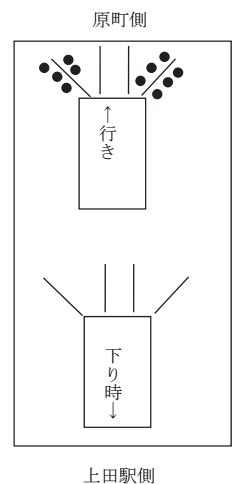
■掛け声と太鼓・お囃子

掛け声 エ〜イ エイヤー ド〜

太鼓とお囃子のリズムに合わせて勇ましく掛け声を出しましょう。

意味 「鋭」（すぐれた兵士）、「討」（征伐）

太鼓・お囃子 太鼓団体の皆さんにねぶたの間に入ってもらう太鼓と笛でお囃子を演奏し、掛け声と合わせて運行します。（太鼓 信州上田左岸地域太鼓連盟、青木村義民太鼓保存会）



- ・平成21年12月25日 【大阪城、安居神社等署名開始】



眞田氏所縁の大阪は情報の発信地として活動当初からご協力をいただく。

【OSK日本歌劇団署名開始】

- ・平成22年（2010）1月元旦 【眞田神社初詣署名開始】



まず地元から話題づくりと地道な活動が始まる。

- ・平成22年1月 【上田商工会議所署名開始】
【東京上田会署名開始】



全国へ署名の輪を広げるため、同時に県外への活動も積極的に進める。

【和歌山県九度山町等署名開始】



【南海電鉄署名開始】

【長谷寺等眞田氏所縁の寺社署名開始】



観光客の皆さんが署名したことで、短期間で全国に話題が波及する。

- ・平成22年3月21日 【上田市スポーツ少年団署名開始】

○平成22年度〔第1回〕

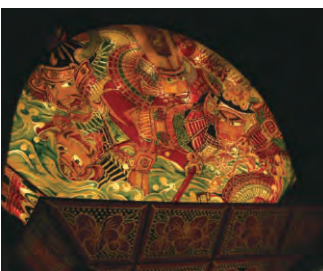
- ・平成22年（2010）5月1日 日本一の夏まつり実行委員会準備会
- ・平成22年5月31日 日本一の夏まつり実行委員会発足
- ・平成22年8月8日 第1回 日本一の夏まつり 眞田出陣ねぶた開催
※まつりを通して署名活動が浸透し、署名数が大きく増加する。

ねぶた数	大ねぶた2基		
コース	中央2交差点～海野町商店街		
組立場所	一富士跡地（中央2丁目交差点前）		
スピーチ	小平奈緒氏（スピードスケート選手）		
参加者数	約1,500名	参加団体	52団体
補助金	長野県地域発元気づくり支援金	協賛企業	17社

■ チラシ



■ Tシャツ絵柄



○平成22年度

※平成22年（2010）4月12日 第2回 NHK山本秀人ドラマ番組部長へ要望（署名数66,666人）

【上田市署名開始】

・平成22年5月31日

【県内外の関係市町村署名開始】

【物産展・イベント等において署名開始】

・平成22年6月18日

【宮城県白石市、蔵王町等署名依頼】



・平成22年7月17日

【信濃毎日新聞に願う会の広告掲載】

※平成22年8月31日

第3回 NHK日向英実放送総局長へ要望（署名数166,666人）



・平成22年9月22日

信濃毎日新聞社 地域討論会の記事掲載（真田氏、保科氏、木曾氏）



全県版で紹介され周知効果絶大！

同一県内で三地域による大河ドラマの誘致活動は全国で初めて。

宮下城代家老の説明に保科氏、木曾氏からは「真田は新幹線で我々は普通列車」との発言があり本会の活動に注目が集まる。

【秋田県由利本荘市等署名開始】

・平成22年12月10日

県知事 阿部守一氏に願う会顧問の就任依頼。



・平成23年（2011）1月元旦 真田神社初詣署名

・平成23年1月6日

長野県長野市松代町署名依頼（2月1日署名開始）



秋田魁新報 2010年7月9日（金）



○平成23年度〔第2回〕

- ・平成23年（2011）9月3日～4日 ねぶた絵制作
- ・平成23年9月18日 第2回 日本一の秋まつり 眞田幸村公出陣ねぶた開催

ねぶた数	大ねぶた4基		
コース	中央2丁目交差点→①白虎隊 大手町 ②青龍隊 海野町 ③玄武隊 原町（北側） ④朱雀隊 原町（南側）		
組立場所	池波正太郎眞田太平記館駐車場（平林堂書店奥）	保管場所	一富士跡地
スピーチ	西澤ヨシノリ氏（プロボクサー）		
参加者数	約2,000名	参加団体	43団体
補助金	長野県地域発元気づくり支援金	協賛企業	ねぶた15社 / Tシャツ19社

■ チラシ



■ 信毎広告



■ Tシャツ絵柄



- ・平成23年9月19日 上田眞田まつり
- ・平成24年（2012）2月25日～26日 眞田幸村公 出陣ねぶた絵講習会
（青森県弘前市から絵師2名来田）



○平成24年度〔第3回〕

- ・平成24年（2012）8月 真田太平記テーマソングのねぶた使用について了承を得る。
 - ・平成24年9月8日 第3回 日本一の秋まつり 真田幸村公出陣ねぶた開催
 - (1)真田まつり槍振り保存会（松代）初参加で大好評！
 - (2)白石戦國武将隊・奥州片倉組（宮城県）真田幸村公所縁の白石市から初参加熱演！
 - (3)信州真田鉄砲隊上田駅前で演武を行い、祭りを盛り上げる。
- 15:00～ 水車前 演歌・ダンス発表！
 15:00～21:00 演武 伊賀流忍者集団黒党・殺陣サークル 真

ねぶた数	8基 大ねぶた4基（幸隆隊・昌幸隊・信幸隊・幸村隊） 中ねぶた3基（大助隊・義仲隊・上田原隊） 小ねぶた1基（諏訪形隊）		
コース	上田駅お城口～中央商店街（海野町・原町・松尾町）		
組立場所	上田駅お城口 イトーヨーカドー跡地		
スピーチ	近藤憲二（テコンドー元世界チャンピオン）		
参加者数	約3,000人		
参加団体	58団体・太鼓団体4団体・パフォーマンス出演者9団体・個人		
補助金	長野県地域発元気づくり支援金	協賛企業	ねぶた20社 / Tシャツ34社

■ チラシ



■ 信毎広告



■ Tシャツ絵柄



○平成24年度

※平成24年（2012）4月26日 第6回 NHK松本正之会
長へ要望（署名数 783,939人）
「七重八重 地元の願い 桜咲く」



NHK大河ドラマ 日本一の兵 真田幸村公放映の実現を願う会		783,939
〇 NHK 要望 経過		
平成21年	12月1日 署名スタート	12,000
平成21年	12月17日	15,424
平成22年	4月12日 (60,000人)	75,448
平成22年	8月31日 (100,000人)	175,472
平成23年	8月2日 (400,000人)	575,496
平成23年	10月27日 (666,666人)	641,520
平成24年	4月26日 (783,939人)	783,939
〇 署名数 地域別		
北海道	1,200	1,200
東北	68,222	68,222
関東	164,481	164,481
北陸	130,433	130,433
中部	177,794	177,794
近畿	82,024	82,024
中国	58,761	58,761
四国	52,881	52,881
九州	83,008	83,008
海外	1,200	1,200
POTAL	783,939	783,939



- 平成24年4月29日
- 平成24年4月29日

平成24年度 本会総会
NHK大河ドラマ日本一の兵真田幸村公放映の実現を願う署名目標達成報告会(200名)

- ルートイングループ 代表 永山勝利様
210,000人の署名活動のご尽力により感謝状贈呈
- 宮原千恵子 様
全国から届けられた署名を都道府県ごとに集計、誰もが認識できる地図資料作成により感謝状贈呈。
- 歌手 岩田美智子様へ観光奉行を依頼する。
- 記念公演 講談「真田幸村」 講談師 旭堂 南陵氏 (大阪)



- 平成24年9月
- 平成25年(2013) 1月24日 署名数 802,239人 (真田神社等で署名活動継続)
- 平成25年2月

2014年NHK大河ドラマ発表。「戦国軍師 黒田官兵衛」

松尾町ショーウィンドウ署名活動等紹介コーナー更新



- 平成25年3月20日 「NHK大河ドラマ誘致活動の成功とその効果について」講演会
(講師：大嶋要三氏 直江兼続公をNHK大河ドラマに推進する会 事務局長)
※「天地人」の誘致活動に学ぶ (新潟・山形・福島)



＜大嶋氏評＞
「上田はいい所まで来ています。大丈夫、大河ドラマいけますよ!」この言葉に元氣百倍 勇気づけられる。

○平成25年度〔第4回〕

・平成25年（2013）9月7日 15：30～21：00 第4回 日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた開催

ねぶた10基登場…雨天にも関わらず頑張り曳行する。

弘前ねぶたの事故後安全対策を行い実施する。

(1)眞田昌幸公出陣囲碁大会開催。

(2)古式砲術披露 信州眞田鉄砲隊

(3)演武 殺陣サークル 眞、信州上田おもてなし武将隊、越後上越上杉おもてなし武将隊、風林火山甲斐の虎武将隊、宮城県白石戦國武将隊奥州片倉組参加！

(4)眞田まつり槍振り保存会（松代）熱演！

ねぶた・山車数	11基	大ねぶた4基（幸隆隊、昌幸隊、信幸隊、幸村隊）、中ねぶた4基（大助隊、上田原隊、義仲隊、丸子隊）、小ねぶた2基（諏訪形隊、家氏隊）、大太鼓山車1台
コース	上田駅お城口～中央商店街（海野町・原町・松尾町）	
組立場所	上田駅お城口 イトーヨーカドー跡地	
スピーチ	ビル・レッティ（駅伝監督）	参加者数 約4,000人
参加団体	104団体、パフォーマンス20団体、個人、太鼓10団体 (15：00～18：00、18：30～20：30)	
補助金	上田市	協賛企業 ねぶた17社 / Tシャツ38社

■ チラシ



■ 信毎広告



■ Tシャツ絵柄



○平成25年度

・平成25年（2013）3月20日 本会総会

会長に宮下茂氏（上田商工会議所会頭）が就任。



・平成25年12月3日

2015年大河ドラマ制作発表「花燃ゆ」

※平成25年12月26日

第7回 NHK大河ドラマ放映の要望（署名数828,226人）

「真田氏所縁の市町村（長野、群馬、宮城、和歌山等）
34人が一体となって熱く要望する。」

NHK：「驚異的な期間で驚異的な署名数を集めた。」

「真田ものは毎回候補に上がっている。真田の大河ドラマを希望するプロデューサーが複数いる…」など驚きの発言が続出し、放映期待のつぼみが大きくふくらむ。



○平成26年度

・平成26年（2014）5月12日 第55回（平成28年）NHK大河ドラマ『真田丸』（脚本：三谷幸喜）決定。例年より早い時期（5月）の決定に驚きながらも感無量 万歳！

※要望最終署名数 839,069人

「八重桜丸、大海原へ向く」



5月12日発売の週刊誌に大河ドラマの記事が掲載され急遽発表となる。真の狙いは何。すでに真田戦略の始まりか？

・平成26年5月17日

大河ドラマ放映決定三者共同記者会見（上田東急イン）

〔願う会・上田市・上田商工会議所〕



・平成26年5月19日

松尾町ショーウィンドウ署名活動等紹介コーナー更新

○平成26年度〔第5回〕

・平成26年(2014)8月1日 本場 弘前ねぶたまつり研修へ(役員有志)



・平成26年9月6日 第5回 日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた開催
ねぶた、みこし合わせ15基出陣 天気にも恵まれ、過去最高の人出に

ねぶた・山車数	15基	大ねぶた4基(幸隆隊、昌幸隊、信幸隊、幸村隊)、中ねぶた3基(大助隊、大八隊、津軽ねぶた絵隊)、小ねぶた4基(青年部眞田丸隊、諏訪形隊、光風鬚輪隊、エリスン隊)、常田大凧隊、にゃん隊、大太鼓山車、松代大太鼓山車
コース	上田駅お城口～中央商店街(鷹匠町・横町・海野町・原町・松尾町)〈コース変更〉	
組立場所	上田駅お城口 イトーヨーカドー跡地	
参加者数	約4,500人	参加団体 99団体、パフォーマンス16団体、個人、太鼓8団体
補助金	上田市	協賛企業 ねぶた16社/Tシャツ38社

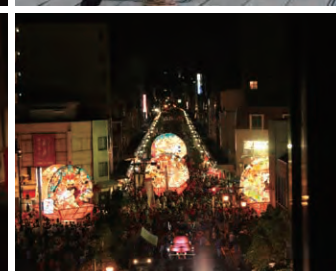
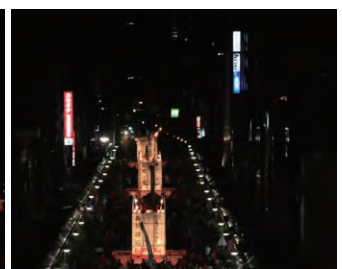
■ チラシ



■ 信毎広告



■ Tシャツ絵柄



○平成26年度

・平成26年（2014）5月31日 大河ドラマ放映決定報告会
（上田駅お城口 真田幸村公像前）

・平成26年6月19日 『真田丸』 主役（幸村公）は、堺 雅人さんに決定
※平成26年7月1日 NHKへ大河ドラマ『真田丸』放映実現のお礼訪問



（以後「放映」の表現を「放送」に変えるが会の名称は従来通り）



・平成26年7月6日 平成26年度 本会総会

会長に森良則氏（上田観光コンベンション協会会長）が就任。



本会の前身である準備会の会長が三代会長をつとめる。

・平成26年8月29日 大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会設立総会
（主催：大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会：以降推進協と記述）

・平成26年9月より NHK大河ドラマ『真田丸』決定を受けて、行政と市民が一体となった新たなまちづくりへ向けて、上田市民全戸へ市民アンケートを行う。



- ・配布総数 56,042戸
- ・回収数 13,394戸
- ・回答率 23.9%

・平成26年11月21日 NHK大河ドラマに情熱をかけた仲間たちの想い企画展・講演会（主催：上田創造館）



・平成26年12月16日 市民アンケート結果を上田市長へ報告し、誇りを持てるようなまちづくりを要望する。



・平成27年（2015）2月 『真田丸』に向けて新商品開発の相談を受ける。

・平成27年3月10日～11日 大河ドラマ『真田丸』クランクイン（真田氏本城跡ほか）

・平成27年3月25日 推進協議会第2回総会・記念講演会を開催
講師 NHK制作局 屋敷陽太郎チーフプロデューサー（主催：推進協）

○平成27年度〔第6回〕

- ・平成27年（2015）9月6日 18：00～21：00 第6回 日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた開催
- ・古式砲術披露 信州眞田鉄砲隊
- ・眞田まつり槍振り保存会（松代）

ねぶた・山車数	大ねぶた4基（幸隆隊、昌幸隊、信幸隊、幸村隊）、中ねぶた3基（大助隊、大八隊、丸子隊）、小ねぶた3基（青年部眞田丸隊、諏訪形隊、光風襲輪隊）、常田大凧隊、にゃん隊、大太鼓山車、松代大太鼓山車2基		
コース	上田駅お城口～中央商店街（海野町・原町・松尾町）		
組立場所	上田駅お城口 イトーヨーカドー跡地		
出陣宣言	西岡比寧氏（大阪桐蔭高校 チアリーディング部）		
参加者数	約3,500人	参加団体	79団体、パフォーマンス4団体、太鼓8団体
補助金	上田市	協賛企業	ねぶた18社 / Tシャツ32社

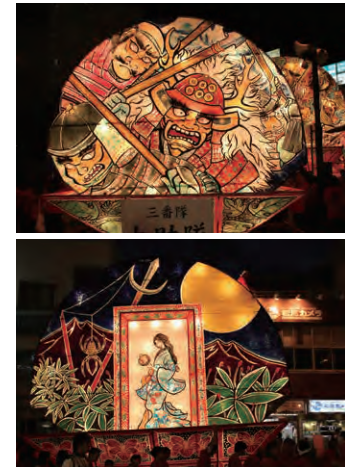
■ チラシ



■ 信毎広告

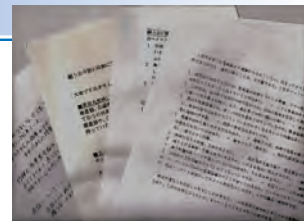


■ Tシャツ絵柄



○平成27年度

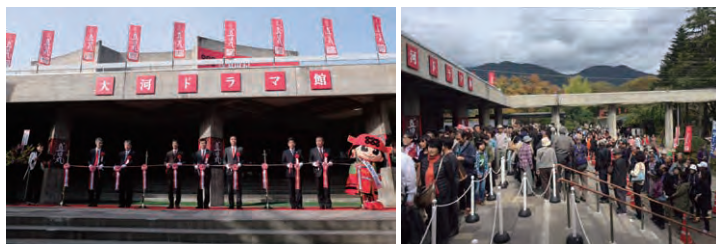
- ・平成27年（2015）5月16日 本会役員会 放送決定発表から一年、経緯と今後の活動方針の意見を持ち寄り真剣に上田のまちづくりについて議論を展開する。
- ・平成27年6月28日 平成27年度 本会総会
- ・平成27年7月22日～23日 ㈱KADOKAWA「歴史読本」編集長石井久恵氏来訪



- ・平成27年12月6日 犬伏の別れ415年！真田御兄弟対談
～上田城での再会から結集、そして陣触れ～
真田信幸公御子孫 真田幸光氏と真田幸村公御子孫 真田徹氏の対談を真田神社で開催。（主催：真田御兄弟対談実行委員会＝上田市倫理法人会、真田神社、願う会有志）
この模様は、テレビ東京（平成28年4月30日夜9時『出沒！アド街ック天国』）で放送される。



- ・平成28年（2016）1月2日 NHK「プラタモリ×鶴瓶の家族に乾杯 真田丸スペシャル」
ゲスト：堺雅人（真田信繁役）、タモリ、笑福亭鶴瓶
- ・平成28年1月10日 第55回NHK大河ドラマ『真田丸』（全50話）待望の放送スタート！
- ・平成28年1月10日 大河ドラマ『真田丸』第1回放送パブリック・ビューイング
ゲスト：高木渉（小山田茂誠役）（主催：推進協）
- ・平成28年1月17日 信州上田真田丸大河ドラマ館オープン。全国真田氏所縁の地の賑わいもいよいよ本格的に。
（上州沼田真田丸展、九度山・真田ミュージアム等）
- ・平成28年1月17日 信州上田真田丸大河ドラマ館
オープニングセレモニー
ゲスト：堺雅人（真田信繁役）（主催：推進協）
- ・平成28年1月28日 大河ドラマ館入館10,000人達成



- ・平成28年3月10日 大河ドラマ館入館66,666人達成
- ・平成28年3月19日 平成28年度 本会総会（大手町会館大会議室）
- ・平成28年3月26日 「真田十勇士ガーデンプレイス」グランドオープン（主催：上田商工会議所）

○平成28年度〔第7回〕

・平成28年（2016）5月10日 第7回 日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた 実行委員会 開催



・平成28年9月3日 18:00~20:45 第7回 日本一の秋まつり眞田幸村公出陣ねぶた開催
 (1)古式砲術披露 信州眞田鉄砲隊、眞田まつり槍振り保存会（松代）

ねぶた・山車数	14基 大ねぶた4基（昌幸隊、信幸隊、片倉隊、幸村隊）、中ねぶた3基（上田原隊、大助隊、大八隊、丸子隊）、小ねぶた3基（諏訪形アトムねぶた隊、青年部隊、光風鬨輪隊）、常田大凧隊、大太鼓山車、松代大太鼓山車2基		
コース	上田駅お城口～中央商店街（海野町・原町・松尾町）		
組立場所	上田駅お城口 イトーヨーカドー跡地		
出陣宣言	平野帆高氏（信州上田観光おもてなし武将 七代目 眞田幸村公）		
参加者数	約3,500人	参加団体	85団体、パフォーマンス4団体、太鼓8団体
補助金	上田市	協賛企業	ねぶた19社 / Tシャツ33社 / 協賛金22社

■ チラシ



■ 信毎広告



■ Tシャツ絵柄



○平成28年度

- 平成28年（2016）4月24日 第34回上田真田まつり（主催：信州上田まつり実行委員会）

大河ドラマ出演者登場「出陣！真田一族武者行列～真田昌幸公と国衆～」
 ゲスト：草刈正雄（真田昌幸役）、中原丈雄（高梨内記役）、藤本隆宏（堀田作兵衛役）、
 高木渉（小山田茂誠役）栗原英雄（真田信伊役）、今野浩樹（与八役）【観客：約100,000人】

写真提供
上田市

- 平成28年9月8日 「智将トーク・プレミアム～草刈正雄×山本耕史」（主催：推進協）
 ゲスト：草刈正雄（真田昌幸役）、山本耕史（石田三成役）

写真提供
上田市

- 平成28年9月18日 「真田丸大文化祭」公開収録（NHK）
 ゲスト：草刈正雄（真田昌幸役）、片岡愛之助（大谷吉継役）

- 平成28年9月19日 上田警察署 草刈正雄さん一日警察署長
 ゲスト：草刈正雄（真田昌幸役）、大野泰広（河原綱家役）

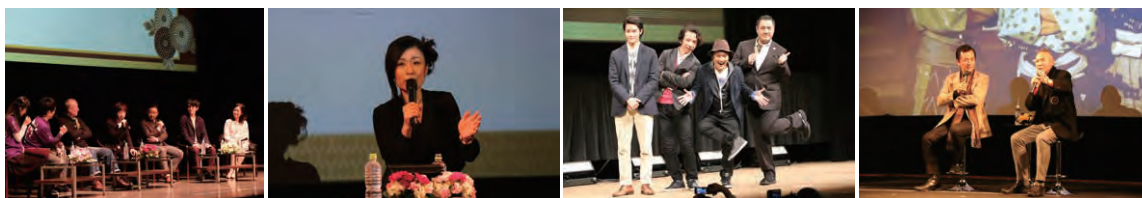
写真提供
上田市

- 平成28年9月19日 大河ドラマ館来館者666,666人達成
- 平成28年9月19日 テレビ東京「イチゲンさん」の番組で上松屋（別所温泉）さんの
 大広間 襖絵を真田幸村と十勇士の切り絵に貼り替えた収録に参加。



- 平成28年9月22日 「真田丸スペシャルトークショー」
 ゲスト：草刈正雄（真田昌幸役）、栗原英雄（真田信伊役）、村上新悟（直江兼続役）

- 平成28年12月12日～17日 『真田丸』トーク！トーク！トーク！～毎日ライブin信州上田
 ゲスト：長野里美（こう役）、大野泰広（河原綱家役）、小栗さくら、岡本健一（毛利勝永役）、小林顕作（明石全登役）、
 今井朋彦（大野治長役）、白石隼也（木村重成役）、小手伸也（塙団右衛門役）、平山優（『真田丸』時代考証担当）、
 榎木孝明（穴山梅雪役）、木之元亮（長兵衛役）、小林隆（片桐且元役）、近藤芳正（平野長泰役）、深水元基（福島正則役）、
 哀川翔（後藤又兵衛役）、中川大志（豊臣秀頼役）、阿南健治（長宗我部盛親役）綾田俊樹（矢澤頼綱役）、
 迫田孝也（矢澤三十郎頼幸役）、西村雅彦（室賀正武役）、中原丈雄（高梨内記役）、栗原英雄（真田信伊役）、
 高木渉（小山田茂誠役）、広田亮平（真田信吉役）、浦上晟周（真田大助役）、山西惇（板部岡江雪齋役）、
 前川泰之（春日信達役）、栗原英雄（真田信伊役）、村上新悟（直江兼続役）



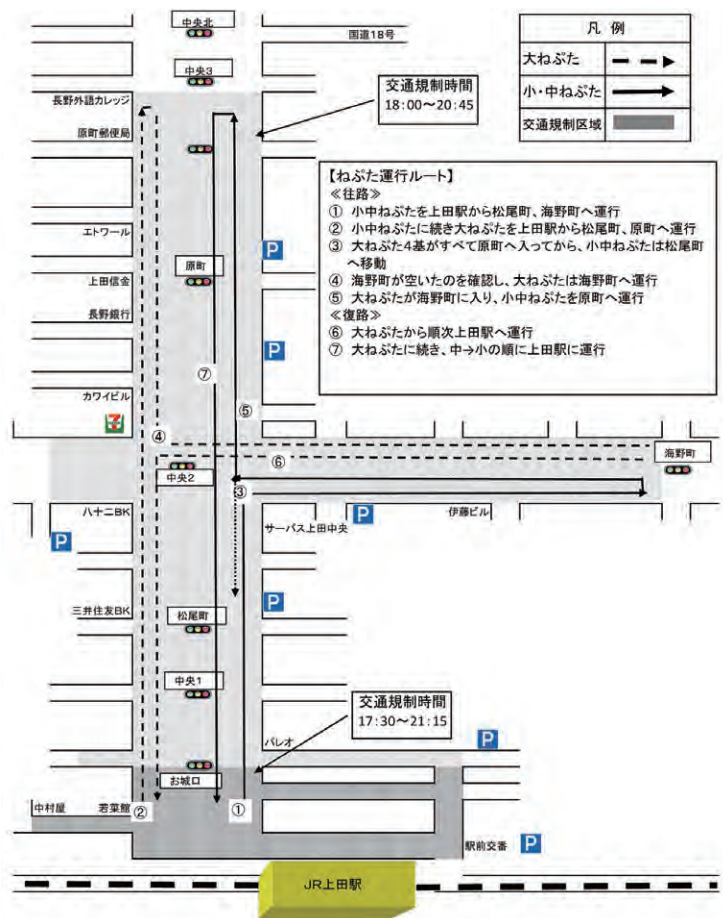
写真提供 上田市

○平成28年度〔第7回〕

当日運営スタッフ

運営責任者	中村 彰
運営副委員長	中澤 信敏
ねぶた運行責任者	細井 武夫
運行委員	岩瀬 啓
運行委員	滝澤 克彦
当日本部	松倉 慎
司 会	原 有紀
警 備	西川 孝昭
交通規制	橋詰 一夫
緊急車両誘導	小坂井 正明
救 護	山本 幸子
上田中央消防署	
上田警察署	
警察本部 駅前口一タリ	
警察本部 商工会議所4階	
常田大風隊 隊長	倉島 弘一
諏訪形隊 隊長	市川 健司
上田原隊 隊長	山浦 英雄
大助隊 隊長	土井 恭也
大八隊 隊長	長岡 篤市
青年部隊 隊長	石黒 純
丸子隊 隊長	山口 隆久
光風譚輪隊 隊長	家氏 晴美
昌幸隊 隊長	堀内 文雄
信幸隊 隊長	吉川 洋司
片倉隊 隊長	宮崎 潤也
幸村隊 隊長	清住 元章
槍振り隊同行	長井 和彦

運行経路



◎ねぶた製作・組立 上小建設労働組合

◎ねぶた絵制作者等一覧

青木義典、赤羽あづさ、荒井由美子、飯島邦雄、家氏隊、市川健司、上田市軟式野球スポーツ少年団、上田商工会議所青年部、川辺小学校140周年記念事業実行委員会(児童・PTA・育成会)、川辺小学校児童・PTA、清明小学校6年生・PTA、第四中学校美術部、南小学校、南小学校6年3組、上田原古戦場祭り実行委員会、上田原自治会、上田原地域活性化委員会、エリスン隊、尾沼家(尾沼誠司、尾沼昭子、尾沼耕平、尾沼周穂)、加藤一郎、金井花祥、荒井恵美、金子孝子、木曾義伸信州丸子会、光風譚輪隊、杉村俊明、すずきかつえ、諏訪形ねぶた絵隊、諏訪形ポンドガールズ、諏訪形有志、高寺一恵、竹内ルミ子、竹鼻靖之、田中知嘉子、照井正夫、中澤千鶴、中沢寛巳、上田染谷丘高等学校美術班、上田東高等学校美術班、西川かおり、西沢優、西澤公規、羽地勝義、羽地家(羽地潤一郎・羽地輝・羽地千織・羽地澄将)、原商店、原英和、原有紀、升井由紀子、丸子北中学校美術部、水沢千織、溝江由樹(弘前ねぶた絵師)、宮坂陽子、宮下修身、宮下倅實、宮下秀子、柳澤雄二、他 お手伝いいただいた皆さん

◎ねぶた絵貼り協力者等一覧 隊長 高橋幸夫(統括) 副隊長 土井恭也(安全管理者)、岩瀬啓(技術指導)

上田市軟式野球スポーツ少年団隊

井尻英明、西澤文男、笠原康之、中山貴洋、高野彰、竹内清貴、甲田賢剛、後藤教夫、石沢隆成、小林大雅、高木禎久、岩崎昭、北條泰治、宮下誠、武井義徳、勝見隆、宮下進一郎、小松直樹、西澤賢治、古津順二、長野玄学、小松和貴、城倉俊明、小坂井正明、保護者の皆さん

神川ソフトボール

責任者:清住元章 宇田聖子、尾崎功、尾崎清孝、倉沢聖二、小林静男、竹内昭博、竹内健二、武田智宏、土井恭也、西澤文男、長谷川修、長谷川郁夫、原行男、細井武夫、柳沢由二、柳橋修、山辺光之、湯浅博文

長野計器隊

責任者:横山直樹、新村光弘 平成23年~28年度新入社員

上田東高等学校美術班、上田染谷丘高等学校美術班、大八隊(責任者 原有紀)、諏訪形隊(責任者 市川健司)、宮原千恵子、西川孝昭、小林邦朗、雨宮幸治、石森元子、飯島邦雄、西原光雄、西澤逸郎、小坂井二郎、上田原隊、木曾義伸隊

- ・平成28年12月16日 スピンオフ企画第二弾「信之に訊け!!」
ゲスト：大泉洋（真田信之役） MC：迫田孝也（矢澤三十郎頼幸役）
 - ・平成28年12月18日 大河ドラマ『真田丸』最終回パブリック・ビューイング（主催：推進協）
ゲスト：藤本隆宏（堀田作兵衛役）、長野里美（こう役）、高木渉（小山田茂誠役）、迫田孝也（矢澤三十郎頼幸役）、大野泰広（河原綱家役）、広田亮平（真田信吉役）、浦上晟周（真田大助役）、三浦文彰（『真田丸』テーマ曲バイオリニスト） サプライズゲスト：草刈正雄（真田昌幸役） MC：萩原早紀子（NHK長野）、屋敷陽太郎（『真田丸』制作統括チーフ・プロデューサー）
- ※平成28年12月22日 第8回 NHK「もう一つの真田丸～みちのく編～」放送の要望



- ・平成28年12月31日～平成29年1月25日 全国真田氏ゆかりの6寺で、NHK大河ドラマ放映要望署名のお焚き上げを行う。
長谷寺（上田市真田町）、正念寺（上田市下武石）、大鋒寺（長野市松代町）、真田庵（和歌山県九度山町）、当信寺（宮城県白石市）、妙慶寺（秋田県由利本荘市）



- ・平成29年（2017）1月15日 信州上田真田丸大河ドラマ館閉館
最終累計来館者数：1,035,802人
- ・平成29年2月22日 ロケーション・ジャパン大賞準グランプリ受賞
- ・平成29年2月25日 NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会
解散式・祝賀会（JA信州うえだ本所3階）



【願う会・ねぶた・『真田丸』関連新聞記事掲載数 1,760件以上】

NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの） 眞田幸村公放映の実現を願う会設立趣意書

戦国時代、自ら信じる道を民とともに歩んだ眞田一族は、その発祥の地であり、昌幸公の上田城築城に始まる城下町信州上田に住む私たちの誇りであります。

二度にわたる徳川の大军の攻撃を退けた眞田の智勇は、天下に轟き、その後の大坂の陣において、「眞田の赤備え（武具を赤で統一した部隊）」を率いた眞田幸村公の「日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）」と称された活躍につながることであります。

今、まさに戦国ブームが到来しております。一昨年のNHK大河ドラマ「風林火山」での眞田幸隆公の登場に始まり、今年の大河ドラマ「天地人」で登場した眞田幸村公は、主人公直江兼継公から上杉謙信公の「義」の薫陶を受け、乱世を生き抜く様が放映されています。また、昨年放映されたNHKのBS熱中夜話「日本の城を語る！」では、お城ファンが選んだ「好きな城ベスト10」で、上田城が堂々の第1位に輝くとともに、幸村公は、「歴女（れきじょ）」と言われる若い女性を中心に、常にベスト3に入る大人気武将となっています。

その他にも、上田市を舞台に、眞田家の末裔である家族を主人公としたアニメ映画の大ヒット上映など、私たちの故郷信州上田が、「眞田」というキーワードから注目を集めています。

私たちは、眞田幸村公を、これからのまちづくりの中心にすえ、以下の3つの目的のもと、幸村公の大坂城入城400周年となる平成26年(2014年)までに、NHK大河ドラマ「日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）眞田幸村公」放映実現を要望し、眞田家の旗印「六文銭」にちなみ、666,666人の皆様の署名を集める活動を行うNHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）眞田幸村公放映の実現を願う会を設立するものであります。

- 1 熱き心と智恵を持ち、眞田一族の恵み深き資産を活かした城下町信州上田のまちづくりにつなげていくこと
- 2 眞田魂である報恩の心を誇りとして、不借身命、ネバー・ギブ・アップ（決して諦めない）の精神を全国に発信するとともに、後世に広く伝えていくこと
- 3 大河ドラマの放映を通じて、眞田一族ゆかりの地域間の交流を促進するとともに、全国からの交流人口を増やし、地域経済活性化の起爆力としていくこと

皆様の御賛同と御協力を心よりお願い申し上げます。

平成21年11月 吉日

NHK大河ドラマ

日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）

眞田幸村公放映の実現を願う会設立に向けた考え方

- 1 現在の眞田人気の高さ
 - (1) 人気投票で眞田幸村公は上位にランクされる。
 - (2) 歴女に代表される若い人達に浸透している。
- 2 上田地域におけるかつてない盛り上がりが見られる。
 - (1) 上田城を訪れる観光客が増加している。
 - (2) 商店街や市民の方が眞田氏に因むイベントを開催している。
- 3 NHK大河ドラマ「天地人」放映による新潟県の経済効果がいわれる（200億円）
 - (1) 県内のなかでも上田地域の落ち込みは深刻。
 - (2) 眞田効果を生かし地域の活性化につなげたい。
- 4 信濃毎日新聞で眞田三代が連載されており、大変大好評
 - (1) 新しい観点からの小説であり、大変興味深く、楽しみにしている。

このような状況を踏まえ、11月4日に市民有志により、準備会を立ち上げ検討を積み上げてきた。署名目標人数を眞田の六文銭に因み、666,666人を達成させるため、是非母袋市長に会長に就任していただき、県内外への取組みを強化したいと考えているので、よろしくお願いたします。

平成 21 年 11 月 25 日 資料より

NHK大河ドラマ日本一の兵眞田幸村公放映の実現を願う会

◎基本的な方針

- ・本会の組織を主体に署名目標数（666,666）の達成を目指す。
- ・署名運動は、今後上田市の将来像としての住民自治、市民協働の試金石として重要な活動として位置付ける。
- ・全国的署名活動は、市、県などの観光分野が中心に取組みを行い、行政色が強い傾向があるが、当会の取組みは民間主導を目指して立ち上げた。（NHKは誘致活動として好意的にとらえている）
- ・NHKは、国会、県会議員等の役員の就任及び活動には難色を示していることから当会の役員に関係議員は入れない。
- ・上田市自治会連合会のご協力を頂き自治体単位で署名を展開する。
- ・上田商工会議所のご協力を頂き署名を展開する。
- ・上田市のご協力を頂き署名を展開する。
(眞田サミット関係市町村等に署名のご協力を依頼する。)

NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）
真田幸村公放映の実現を願う会規約

（目的）

第1条 NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）真田幸村公放映の実現を願う会（以下、本会という）は、智・仁・勇の三徳を兼備し、不借身命、決して諦めない（ネバーギブアップ）日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）真田幸村公を全国に発信するとともに、真田一族の恵み深き城下町信州上田のまちづくりに資することを目的に、NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）真田幸村公放映の実現を目指す。

（事業）

第2条 本会は、第1条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) NHK大河ドラマ実現に向けた署名活動
- (2) その他、目的達成に必要な事項

2 前項第1号の事業遂行のため、東京都、大阪府及び真田氏ゆかりの地に拠点を置く。

（会員）

第3条 本会の会員は、本会の目的に賛同し、積極的な活動ができる個人並びに法人、関係機関及び団体（以下、法人等とする。）とする。

（会費）

第4条 会員は、本会の活動にあてるために、別に定める会費を納入する。

（役員）

第5条 本会に、次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 専務理事 1人
- (4) 常任理事 若干名
- (5) 理事 若干名
- (6) 監事 2人

2 本会には、必要に応じて顧問及び相談役を置くことができる。

（役員を選任）

第6条 会長、副会長および理事は、総会において、会員の中から選出する。

2 専務理事及び常任理事は、理事会において、理事の互選により選出する。

3 監事は、理事会の推薦により選任する。

（役員職務）

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 専務理事は、会長の命を受けて会務を掌握する。

4 常任理事は、常任理事会を組織し、会務を処理する。

5 理事は、会議に出席し、議決に参加する。

6 監事は、本会の会計及び業務を監査する。

7 顧問及び相談役は、会長、常任理事会及び理事会の諮問に応じ、また、役員会に出席して意見を述べることができる。

（役員任期）

第8条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 任期途中で就任した者の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第9条 会議は、総会及び理事会とし、会長が招集する。

2 総会は、年1回開催する。また、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

3 常任理事会は、理事会に付議する事項を審議し決定する。

4 理事会は、総会から委託された事項及び総会を開催するいとまのないときに開催し、これを審議決定する。

（議長）

第10条 総会及び理事会の議長は、会長とする。

（総会に付議すべき事項）

第11条 総会は、次の各号に掲げる事項を付議する。

- (1) 事業計画
- (2) 予算及び決算
- (3) 規約の改廃
- (4) 役員改選

（常任理事会に付議すべき事項）

第12条 常任理事会は、次の各号に掲げる事項を付議する。

- (1) 理事会に付議する事項
- (2) 会務の執行に関して必要な事項

（理事会に付議すべき事項）

第13条 理事会は、次の各号に掲げる事項を付議する。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

（事務局）

第14条 本会に事務局を設け、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 事務局長 1人
- (2) 事務局次長 若干人
- (3) 事務局員 若干名

（会計）

第15条 本会の経費は、会費、協賛金、補助金、その他の収入をもってこれに充てる。

（会計年度）

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

附 則

1 この規約は、平成21年1月28日から施行する。

2 本会の設立初年度の会計年度は、第16条の規定にかかわらず、設立総会のあった日から平成22年3月31日までとする。

3 この規約は、平成23年2月21日から実施する。

日本放送協会
会長 松本正之 殿

NHK大河ドラマ
日本一(ひのもといち)の兵(つわもの)
眞田幸村公 放映の実現を願う会
会長 母袋創一 (上田市長)

NHK大河ドラマ 日本一(ひのもといち)の兵(つわもの) 眞田幸村公 放映の要望

現代日本人が忘れかけている眞田幸村(信繁)公の報恩の心『智・仁・勇』を誇りとして、その熱い想いを全国に発信するとともに、ネバー・ギブ・アップの精神を後世に広く伝えるため、眞田幸村公 大坂城入城400周年となる平成26年(2014年)を目標に、NHK大河ドラマの放映の実現を要望するものであります。

氏 名	住 所	備 考
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	
	都 道 区 市 府 県 町 村	

〈お問い合わせ〉「NHK大河ドラマ 日本一(ひのもといち)の兵(つわもの)眞田幸村公 放映の実現を願う会」事務局
〒386-8522 長野県上田市大手1-10-22 (上田商工会議所内) ☎0268-22-4500 FAX.0268-25-5577
担当者直通：中村 ☎090-2759-3210 / 宮下 ☎090-2226-2285 まで
◎URL：http://www.sanadajinja.com/yukimura/ ◎E-mail: sanadahinomoto1@gmail.com

*頂いたご署名はNHKへ提出する以外の目的で個人情報が利用されることは一切ありません。

平成28年度 日本一の秋まつり 眞田幸村公出陣ねぷた 実行委員会

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Includes roles like 大会長, 副大会長, 実行委員長, etc.

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Includes roles like 委員, 市川 久子, 上田民踊連合会, etc.

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Includes roles like 委員, 寺島 秀則, 松尾町商店街振興組合理事長, etc.

平成28年度 NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会

Table with 3 columns: Role, Name, and Affiliation. Includes roles like 顧問, 眞田 徹, 眞田幸村公次男大八公子孫 (14代目), etc.

Table with 3 columns: Role, Name, and Affiliation. Includes roles like 理事, 小野 将司, (社)上田青年会議所理事長, etc.

Table with 3 columns: Role, Name, and Affiliation. Includes roles like 理事, 土屋 陽一, 信州上田眞田忍者連合会長, etc.

第1回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書

日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）

眞田 幸村公の大河ドラマ放映の要望について

日本放送協会におかれましては、公共放送として自主自律の精神のもと、健全な民主主義の発展と文化の向上、地域の豊かな発展のため御尽力賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、一昨年大河ドラマ「風林火山」での眞田幸隆公の登場に始まり、今年大河ドラマ「天地人」での眞田幸村公の活躍は、眞田家発祥の地であり、眞田一族を郷土の誇りとする私どもにとりましては、至上の喜びでございます。

貴協会により、昭和50年から放映されました人形劇「眞田十勇士」及び、昭和60年から放映されました水曜大型時代劇「眞田太平記」、さらには、「その時歴史が動いた」や「歴史秘話ヒストリア」におきましても、戦国乱世に「義」を全うしながら、力の限り生き抜く眞田一族を多角的にとらえて頂き、多くの視聴者が深い感動を受けております。

とりわけ、上田市では、「眞田太平記」の放映を契機に、上田眞田まつり、眞田サミット及び眞田幸村ロマンウォークの開催、上田駅前眞田幸村公乗馬像や池波正太郎眞田太平記館の設置、上田城櫓門復元、上田城千本桜ライトアップ事業等を行ってまいりました。さらに、平成18年には、大坂城・上田城との友好城郭提携の調印を行い、この地域に根付いている眞田一族の恵みに深く感謝しながら、眞田氏をまちづくりの礎として、官民協働で地域活性化に取り組む意識の醸成が図られてきたことに対し深甚なる謝意を申し上げる次第でございます。

このように、地域に大いなる影響を賜った「眞田太平記」放映から、4半世紀の時が流れた現在、全国的に、歴女と言われる歴史好きの若い女性等を中心に、「戦国武将ブーム」が起きております。今、まさに「眞田幸村公」を主人公に据えた大河ドラマ実現の機が熟しているものと考えております。

上田城築城後、智勇をもって領土と民を守った昌幸公、最後の時まで、豊臣家への忠と義を貫き、敵方からも「日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）」と称えられた幸村公、眞田家を守り、松代十萬石の繁栄を築いた信幸（之）公、そして、こうした眞田家を支えたであろう十勇士や忍びの者等、一族に連なる人々は、すべて大河ドラマ放映の際には、輝く人物像として描けるものと確信しております。

混迷の度を深める昨今の社会情勢において、智・仁・勇の三徳を兼備し、ネバー・ギブ・アップ精神で、時代の流れに真摯に向かい合った眞田一族、とりわけ多くのファンの心を掴んで離さない絶大な人気を誇る眞田幸村公は、今年大河ドラマ「大坂城炎上」で、視聴者に深い感銘を与えたことは記憶に新しいところでございます。

つきましては、全国の眞田一族ファンを代表して、眞田幸村公を主人公とした大河ドラマの実現を要望するものでございます。

平成21年12月17日

NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）

眞田幸村公放映の実現を願う会 会長 母袋 創一

第2回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書

平成22年4月12日

日本放送協会
会長 福地 茂雄 殿

NHK大河ドラマ 日本一の兵
眞田幸村公 放映の実現を願う会
会長 母袋 創一

第1回NHK大河ドラマ 日本一（ひのもといち）の兵（つわもの） 眞田幸村公 放映の実現を要望する署名の提出について

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、更には地域の豊かな発展のため御尽力を賜っておりますことに対し深く感謝申し上げます。

さて、NHK大河ドラマは、毎年、様々な時代と人物にスポットが当てられ、視聴者に深い感銘を与えております。

眞田幸村公は、時代に名を刻んだ多くの先人のなかで、『智・仁・勇』の三徳を兼備し、不惜身命、不撓不屈の精神で戦国乱世にあっても、「矜持」を持ち「義」に殉じたその生き方は、混迷の度を深める昨今の社会情勢にあって、多くの視聴者に力強いメッセージを与えるものと考えております。

NHK大河ドラマで眞田幸村公の勇姿を、ぜひ、見たいという地元上田市、さらには、全国からの熱く強い思いを受け、当会では、昨年12月に放映の実現を目指し、眞田家の旗印である六文銭にちなみ、666,666人を目標数に掲げ、署名活動を展開しております。

本日、眞田幸村公を主人公とした大河ドラマの放映実現を要望する多くの皆さまの熱い気持ちの証として、下記の通り署名を提出いたします。

記

1 長野県上田市下塩尻在住 おしづふらま 鷲巣楓馬くんをはじめ66,666名

第3回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書

第3回NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う要望について

- 1 会設立總會 平成21年11月28日
名称 NHK大河ドラマ日本一の兵 眞田幸村公放映の実現を願う会
- 2 要望の経過 第1回 平成21年12月17日 NHK放送総局長 日向英実 様
第2回 平成22年 4月12日 ドラマ番組部長 山本秀人 様
(署名66,666人分持参)
第3回 平成22年 8月31日 NHK放送総局長 日向英実 様
- 3 今回の要望
- 4 要望者名
 - 1 眞田 徹 顧問 (14代当主)
 - 2 母袋創一 会長 (上田市長)
 - 3 宮下 茂 副会長 (上田商工会議所会頭)
 - 4 塩入 肇 副会長 (上田市自治会連合会長)
 - 5 島 喜治 副会長 (眞田神社奉賛会長)
 - 6 宮下博一 副会長 (眞田幸隆公開基長谷寺住職)
 - 7 岡本 章 九度山町長 (和歌山県九度山町)
 - 8 風間康静 白石市長 (宮城県白石市)
 - 9 田口邦勝 専務理事 (上田商工会議所)
 - 10 井上智央 九度山町 (随行 秘書係長)
 - 11 斉 勝則 白石市 (随行 企画情報係長)
 - 12 宮下省二 城代家老 (大河ドラマ実現を願う会)
 - 13 清水貞男 大目付 (")
 - 14 中村 彰 侍大将 (")
 - 15 東井光司 事務局 (")
 - 16 原 有紀 広報担当 (")
- 5 署名持参数 166,666人
- 6 次回要望予定(第4回)平成22年12月中旬 目標数の1/3 222,222人

第4回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書

平成23年 5月 2日

日本放送協会
会長 松本正之 様

NHK大河ドラマ 日本一の兵
眞田幸村公放映の実現を願う会
会長 母袋創一

第4回NHK大河ドラマ 日本一(のち)の兵(つね)
眞田幸村公放映の実現を要望する署名の提出について

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、更には地域の豊かな発展のためご尽力賜っておりますことに対し深く感謝申し上げます。

さて、NHK大河ドラマは、毎年様々な時代と人物にスポットをあてられ視聴者に深い感銘を与えております。

私どもは、眞田幸村公が大坂城御入城400周年となる2014年(平成26年)までに幸村公を主人公にした大河ドラマ放映の実現を目指し、民間主体で組織され、平成21年12月から眞田六文銭にちなみ、666,666人を目標に掲げ、全国で署名活動を展開しております。

幸村公の兄である信幸(之)公は、幸村公の性格を「ものごと柔和忍辱にして物静かで 言葉少なく 怒り腹立つことがなかった」と語っています。幸村公は、心優しくどんな苦難にも耐え忍び、不撓不屈(ネバーギブアップ)と不惜身命の熱い「眞田魂」を内に秘め、大坂夏の陣では劣勢の中で烏合の衆を見事まとめ上げ、歴史にその名を深く刻んでおります。

現在、わが国は、東日本大震災による未曾有の国難の中にあります。深い悲しみや苦しみから1日も早く立ち直り復興を果たすため、幸村公の退く事なく不撓不屈を貫いた生き方は「頑張れ東北!」、「がんばれ 日本!」の掛け声とともに、被災地や全国の視聴者に向けて力強いメッセージを与えるものと考えております。

ここに、眞田幸村公を主人公とする大河ドラマの放映を御要望申し上げますとともに、全国から賜りました皆様の貴重なお気持ちの証として、下記のとおり署名を提出いたします。

記

かすぶま

- 1 長野県上田市下塩尻 在住 鷲 巢 楓 馬 君 をはじめ466,666名

第5回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書



平成23年10月27日

日本放送協会 会長 松本 正之 殿

NHK大河ドラマ日本一の兵
眞田幸村公放映の実現を願う会
会長 母袋 創



第5回NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの） 眞田幸村公放映の実現を要望する署名の提出について

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、更には地域の豊かな発展のため御尽力を賜っておりますことに対し衷心より感謝申し上げます。

さて、NHK大河ドラマは、毎年、様々な時代と人物にスポットが当てられ、視聴者に深い感銘を与えております。私共は、眞田幸村公の大坂城入城400周年となる2014年（平成26年）に、幸村公を主人公としたNHK大河ドラマの放映の実現を目指し、一昨年12月から眞田家の旗印である六文銭にちなみ、666, 666人を目標数に掲げ、署名活動を展開しております。

本年9月18日開催された『日本一（ひのもといち）の秋まつり～眞田幸村公出陣ねぶた』は多くの市民・観光客の参加のもと、城下町上田の夜を勇壮な「眞田ねぶた」が彩りました。

ねぶた絵は、地元小学生や高校生及び市民が中心となって描いております。

このまつりを始め眞田氏に関わる多くのイベントを通じて、『眞田一族の郷』として、地域の絆がより一層醸成されたものと認識しております。

また、東日本大震災からの復興を目指して行われた「青森ねぶた祭」では、六文銭の旗印の下、決死の覚悟の赤備えの甲冑で合戦に臨む眞田幸村公が黒備えの独眼龍伊達政宗公と激突した大坂夏の陣を現す「ねぶた」が登場し被災地に勇気と元気を届けたとのことであります。

本日、お届けする署名につきましては、上田市民を始め全国に広がる熱い眞田ファンの力を結集して署名開始以来、1年9ヶ月余りで目標に迫る60万人に達しましたので、ここに、不撓不屈の眞田幸村公を主人公とする大河ドラマの放映実現を御要望申し上げますと共に全国から賜りました皆様の貴重なお気持ちの証として、下記のとおり署名を提出いたします。

記

1 長野県上田市下塩尻在住 鷲巣 楓馬 君をはじめ 606, 666名

第6回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書



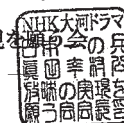
平成24年4月26日

日本放送協会

会長 松本 正之 殿

NHK大河ドラマ日本一の兵

眞田幸村公放映の実現を願う会
会長 母袋 創



第6回NHK大河ドラマ日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）

眞田幸村公 放映の実現を願う要望書

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、更には地域の豊かな発展のため御尽力を賜っておりますことに対し心から感謝申し上げます。

さて、NHK大河ドラマは、毎年、様々な時代と人物にスポットが当てられ、視聴者に深い感銘を与えております。私どもは、先人が積み重ねてきた尊い歴史の中でも大きな転換期となった戦国末期において、不撓不屈の魂をもって生き抜いた眞田幸村公を地域の誇りとして、城下町上田のまちづくりを進めております。

戦国乱世にあつて、常に地域の民とともにあり、智・仁・勇をもって郷土を守る眞田一族の姿は、未曾有の大震災の惨禍の中で、国民が結集した『絆』そのものであり、矜持をもって復興を目指すこの国にとって最も必要なことだと受け止めております。

私どもは、眞田幸村公の大坂城入城400周年となる2014年（平成26年）ないし、戦国世の終焉となった大坂夏の陣から400周年となる2015年（平成27年）に戦国武将全国人気ランキングトップの幸村公を主人公としたNHK大河ドラマの放映実現を目指しております。

放映の実現に向けて、平成21年11月28日市民有志により本会を立ち上げ、眞田家の旗印である六文銭にちなみ666, 666人を目標数に掲げ、眞田氏所縁の地域の皆様

第7回 NHK 眞田幸村公の大河ドラマ放映 要望書



平成25年12月26日

日本放送協会

会長 松本正之 殿

NHK大河ドラマ『^{つむぎ}日本一の^{つむぎ}兵
眞田幸村公放映の実現を願う会』
会長 宮下 茂

NHK大河ドラマ眞田氏放映の要望書

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、さらには全国各地域の豊かな発展のため鋭意、御尽力を賜っておりますことに対して深く敬意を表します。

さて、長野県上田地域は、律令時代から県内の中心地として、先人が積み重ねてきた尊い歴史があり、その中でも大きな転換期となった下剋上の戦国期において、不撓不屈の魂をもって生き抜いた『眞田氏』を地域の誇りとして、城下町上田のまちづくりを進めております。

眞田家中興の祖と言われる眞田幸隆は、卓越した調略で、捲土重来、旧領の眞田の郷を回復しました。その後、眞田家の家督を継いだ昌幸は、父幸隆の遺訓を守り『発想は大胆で、気持ちは固く、行動は粘り強く、不撓不屈の心』を持って地域の民とともに眞田三代の治世豊かな城下町上田を創り上げました。二度にわたる上田合戦で、巨大な力に対して、矜持を持ち、小国ながらも意地と誇りを賭けて戦い抜いた昌幸の姿は、大坂の陣において、獅子奮闘した幸村に引き継がれました。一方、昌幸、幸村と袂を分かつこととなった嫡男信之は、現在まで眞田宗家の血脈を繋げました。こうした『眞田氏』の生き様は、私たち地域住民の誇りであり、精神的な支柱となっております。

本会は、2009年、大河ドラマ放映に向けた署名活動を行う名称に『眞田三代』を冠して立ち上げる予定でしたが、同年『信濃毎日新聞』から火坂雅志氏の小説『眞田三代』の連載が開始されておりましたので、貴協会に御迷惑をおかけしない方策を熟慮する中で現在の名称に決定した経過がございます。なお、『眞田氏』に関連した小説については、現在までに300冊を越えており、火坂氏の小説も選択肢の一つではありますが、著者を限定しての要望ではないことを申し添えます。

及び商工団体や眞田ファン等のご支援ご協力賜り、署名活動を全国規模で展開してまいりました。

また、『眞田一族の郷』としての誇りを胸に、一昨年から市民総参加による城下町の香りが漂うまちづくりを進めるため『眞田幸村公出陣ねぶた』を開催しております。武勇の誉れ高き『眞田の赤備え』の装いで、心一つにねぶたを曳航するなかからまちづくりの意識が着実に醸成されてきているものと感じております。

本日ここに、義に生き情報戦略を最大限に駆使した「幸村公の勇姿を大河ドラマで見たい！」と願う、全国また海外の皆様の署名が、署名開始以来2年という前代未聞の短期間で目標数を大幅に超える783,939人に達しましたので、その熱き想いを謹んでお届けいたします。

なお、要望活動も六文銭にちなみ、今回が最終の6回目となりますことから、貴協会におかれましては、ぜひともお聞き入れ賜り、眞田幸村公を主人公とする大河ドラマの放映を実現していただきますようお願い申し上げます。

記

- 署名総数 783,939人 (長野県上田市 小学3年生 鷲巣 楓馬 君ほか)
- 署名経過

(回数)	(年月日)	(持参署名数)
第1回NHK要望	平成21年12月17日	0人
第2回NHK要望	平成22年 4月12日	66,666人
第3回NHK要望	平成22年 8月31日	166,666人
第4回NHK要望	平成23年 5月 2日	466,666人
第5回NHK要望	平成23年10月27日	606,666人
目標達成!	平成23年12月10日	666,666人
第6回NHK要望	平成24年 4月26日	783,939人





『真田氏』を主人公に据えたNHK大河ドラマの放映実現に向け、要望する理由を以下8点申し上げます。

1 真田氏から見える戦国史

戦国史における真田氏は、戦国史上最も有名な戦いの一つである『川中島の戦い』や武田信玄が京を目指して進軍した『三方ヶ原の戦い』において武田家の重臣として出陣し、武功を上げました。その後、豊臣秀吉が、天下統一を成し遂げ、太閤としての地位を盤石なものとした『小田原征討』の発端は、真田家と北条家の領地紛争にありました。

そして、天下人秀吉亡きあと、覇権を巡って全国の大名が東西に分かれ戦った『関ヶ原の戦い』での父子敵味方の戦いぶり、とりわけ、『大坂の夏の陣』での幸村の乾坤一擲（けんこんいつてき）の戦いぶりは、敵方から『日本一（ひのものとち）の兵（つわもの）』と称されたことは、あまりにも有名です。

このように『真田氏』は戦国史において、常に時の為政者の傍らにあり、歴史の証言者となっております。『真田氏』を描くことで日本の歴史における『戦国』という時代を新たな視点から見ることが出来ます。

2 真田家の全国に繋がる『縁（えにし）』の輪

真田家ゆかりの地については、仙台真田家ゆかりの宮城県白石市、蔵王町、幸村公の娘で五女お田の方ゆかりの秋田県由利本荘市。そして、武田家時代からの領地である群馬県沼田市、嬭恋村そして昌幸の終焉の地和歌山県九度山町、戦国の世の最終決戦となった大阪府大阪市、藤井寺市。また、秀吉の朝鮮出兵により参陣した佐賀県唐津市、薩摩落ち伝説のある鹿児島南九州市等と北から南へと全国に繋がっております。

『真田家』を描くことで、全国にその『縁（えにし）』を広げた足跡をたどることが出来ます。

3 現在まで繋がる真田家の血脈

戦国乱世にあって、家名が代々続くということは稀なことです。昌幸が、徳川家との戦いに際して、家名存続を意図し、敵味方に分かれたとの逸話が有名ですが、信之は、祖父幸隆、父昌幸から続く真田家を継承し、『松代真田宗家』として16代（信之からは14代）の血脈を伝えています。なお、歴代当主の下で、藩財政改革に尽力した恩田木工（8代幸弘）、幕末の思想家で、明治政府建設の尊い捨石となった佐久間象山（10代幸貫＝幕府老中）等の傑出した人材を輩出しました。



なお、幸村の家系『仙台真田家』では、山本（新島）八重とともに、戊辰戦争に参戦した仙台藩の洋式兵学者で藩政改革を進めた真田幸敏（9代当主）がおります。

『真田家』を描くことで、時代の先駆者を輩出し、今にその血脈を繋げていることを発信することが出来ます。

4 日本人が持つ不撓不屈の精神は真田の魂

一昨年未曾有の大災害等のような大きな困難に直面したとき、私たち日本人は、全国各地から発信された『絆』の力に後押しされ、勇気をもって常に前を向き、これを乗り越えていく強い精神に触れました。『最後の最後まで、決して諦めることのない（不撓不屈）チャレンジャー精神』こそ、真田の魂そのものです。

これからの日本を背負い、創造していく次世代の若者に向けて発信できると考えております。

5 徳川武家社会崩壊から明治維新へ繋がる火種を残した真田氏

260年にわたる武家政権を終結させ、明治維新に繋げた原点は、関ヶ原に向け中山道を進む徳川秀忠率いる徳川本隊が真田昌幸が籠城する上田城への攻撃に失敗し、合戦に間に合わなかった1600年の『第二次上田合戦』にあると考えています。本隊の遅参で、豊臣恩顧の武將たちの力により勝利したことで、西軍大名を幕府にとって謀反の恐れのない遠隔の僻地へ転封できなかったことが、致命的な火種として残ることとなりました。

とりわけ、維新の立役者となる毛利、島津両家は、地の利を生かし海外交易を進めて勢力を拡大していきました。

このように、『真田氏』が残した火種が後の日本の大展開に繋がっていく経過をたどることが出来ます。

6 真田氏を誇りとして校歌に唄う

市役所に隣接する上田藩主館跡にある県立上田高等学校では、真田氏の魂を根底とした『試百難（しひやくなん）』（困難から逃げない・周到な準備をする・最後まで諦めない）を校訓としており、校歌の一節には、二度にわたる合戦を『関（くわん）八州の精鋭をここに挫（くじ）きし英雄の義心（こころ）のあとは今もなほ』『我に至剛の誇あり、いざ百難に試みむ』と、徳川の大軍から、身命を賭して、郷土を守り抜いた昌幸率いる民衆の誇りは、今も人々の心に生き続けていることを唄っております。地域から全国に向けて、勇気と誇りを発信することが出来ます。





7 ものづくり大国日本と真田氏

大きな力を前にして、たとえ、力は小さくとも、矜持を持って自らの智力と努力で生き抜く真田氏の姿は、まさに戦後日本の繁栄を支えた製造業の『ものづくり』の姿に通じています。

我が国は、敗戦のどん底から類ない発展を遂げ、先進国として世界経済をリードして来ました。『真田氏』は、地方の豪族でありながら、群雄割拠の戦国時代において、卓越した情報網を構築し、収集分析を行い、『智・仁・勇』の三徳を持ち、大きな勢力と肩を並べながら将来を展望して生き抜きました。

世界というステージで『ものづくり大国』と称賛される繁栄を築いてきた企業の姿は、『真田氏』の生き様そのものです。

8 稀代のロングセラー『真田十勇士』が全国を席巻

大坂の陣や真田十勇士は、江戸時代の歌舞伎や講談で盛んに演じられました。明治末期から大正末期に刊行された立川（たつかわ）文庫の『真田十勇士』では、幸村と猿飛佐助ら十勇士の戦いぶりが、史実においてのドラマチックな生き様と相まって壮大なフィクションとなり、大衆文学をリードしました。

昭和に入って、1974年（昭和49年）から9年間にわたり週刊誌に連載され、1985年（昭和60年）には、貴協会の水曜大型時代劇として放映された池波正太郎氏の『真田太平記』は、『真田もの』のベストセラーとなるとともに、ドラマは、不朽の名作となりました。

平成の時代では、映画を始め、テレビや舞台でもたびたび上演され、『歴史』と言われる若い女性を含めた多くのファンを魅了し続けています。また、幸村は、若者を中心としたバーチャル世界で、ゲームのスーパーヒーローとして君臨しています。

ところで、徳川の世である江戸時代に始まり、現在まで400年余にわたる『真田人気』の根底は、地方の小豪族が、時の権利者に対し、常人をはるかに凌駕する智略と行動力を駆使して、威風堂々と戦う潔よさが、いつの時代でも羨望の眼差しを持って見られていることです。真田氏が、なぜこのように卓越した能力を兼ね備えているのか、また、いかにして十勇士のようなヒーローを発掘できたのか、さらに、戦国時代において、全国に構築された情報網を駆使できる他に例を見ない『情報大名』となったのか興味が尽きることはありません。真田氏を描くことで、多くの視聴者の心をつかむことが出来るとともに、小国の日本が、真の世界のリーダーとなるための重要なヒントが隠されているのではないかと考えます。



さて、本会は、放映の実現に向けて、2009年12月から真田家の旗印である六文銭にちなみ666,666人を目標数に掲げ、署名活動を全国に展開してまいりました。

また、併せて『真田一族の郷』としての誇りを胸に、住民総参加によるまちづくりを目指す『真田幸村公出陣ねぶた』を、翌年2010年から開催しています。

まつりは、真田ゆかりの地の皆様や松代真田家御子孫も駆けつけ、年々規模を拡大しています。4,000人を超える参加者が、一日も早い放映実現に向け、『真田の赤備え』の装いで、10基のねぶたを意気軒昂に曳航する姿は、まさに、昌幸の築城当時の『熱き心と智恵』で新しいまちを創造したいという心意気を彷彿とさせました。

さて、本会は、今まで6回の要望活動を行ってまいりましたが、真田氏ゆかりの地での署名活動は継続しております。現在まで集約された、全国82万人余からの『真田氏』への熱き願いをお届けいたします。

群雄割拠の激動の戦国時代を、卓越した情報網と戦略を構築し、民に対する深い愛情を持つ『情報大名真田氏』から描く『戦国史』は、大河ドラマとして多くの皆様に深い感動を与え、かつてない高視聴率を獲得することができるものと確信しております。

記

1 署名総数 828,226人(長野県上田市 小学3年生 鷲^{おしず}巣^{ふうま} 楓馬 君ほか)

2 署名経過

(1) 平成21年12月17日	第1回NHK要望活動	
(2) 平成22年 4月12日	第2回NHK要望活動	66,666人
(3) 平成22年 8月31日	第3回NHK要望活動	166,666人
(4) 平成23年 5月 2日	第4回NHK要望活動	466,666人
(5) 平成23年10月27日	第5回NHK要望活動	606,666人
(6) 平成23年12月10日	目標達成!	666,666人
(7) 平成24年 4月26日	第6回NHK要望活動	783,939人
(8) 平成25年12月26日	第7回NHK要望活動	828,226人



NHK大河ドラマ『真田丸』放映決定の御礼



平成26年 7月 1日

日本放送協会

会長 梶井 勝人 殿

NHK大河ドラマ『^{ひの}日本一の^{つわもの}兵
真田幸村公放映の実現を願う会』
会長 宮下 茂

2016年大河ドラマ『真田丸』放映決定の御礼

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、さらには全国各地域の発展のため、鋭意、御尽力を賜っておりますことに対して深く敬意を表します。

このたび、2016年の大河ドラマに、真田幸村公を主人公とする『真田丸』の放映を決定頂きました。本会を始め、全国に繋がる真田氏ゆかりの郷の関係の皆様、そして放映要望の署名をお寄せ頂いた全国83万人余の皆様とともに、心から御礼を申し上げます。

私たちは、4年半前に、大河ドラマの放映実現を目指して、真田家の旗印である『六文銭』に因む666、666人を署名目標に定めて活動を始めました。吉報を頂くまでの間、全国の『真田人気』の高さと併せて、真田一族が全国に広げた『絆』には、感慨深いものがありましたし、こうした地域との400年の時を経た、新たな『絆』を紡ぐことが出来ました。これは、今後の大きな財産となります。1年6ヵ月後の放映を契機として、一瀟千里の真田軍のように『発想は大胆で、気持ちは固く、行動は粘り強く、不撓不屈の心』を持って、まちづくりにまい進するつもりでございます。

また、日本一（ひのもといち）の脚本家三谷幸喜氏により描かれる『最後の最後まで、決して諦めることのない（不撓不屈）チャレンジャー精神』を持った幸村公とその一族が、戦国の荒波に漕ぎ出す母艦『真田丸』の航海を心から楽しみにしております。

最後に、改めて、放映をお決め頂いたことに深く感謝申し上げますとともに、私どもの会の署名目標であった真田家の旗印六文銭に因み、2016年大河ドラマ『真田丸』の視聴率は、26.6%以上を目指して全国の皆様とともにテレビの前に座ろうと思っております。



署名御礼状



ありがとうございました！
(NHK大河ドラマ実現)

2016年放映のNHK大河ドラマは、真田幸村公の生涯を描く『真田丸』に決定いたしました。

『NHK大河ドラマ^{ひのもといち}日本一の^{つわもの}兵 真田幸村公 放映の実現を願う会』による署名活動では、六文銭に因む目標の666,666人を大きく上回る839,069人の署名を国内外からお寄せいただきました。この度の決定は、署名一人一人に込められた皆様の熱き思いの結実であり、御協力いただいた全国の皆様にも、改めて御礼を申し上げます。

大河ドラマの放映は、全国に広がる真田一族ゆかりの地の観光振興や経済の活性化に大きく寄与するとともに、将来に向けた地域発展につながるものと確信いたします。

『真田丸』は、幸村公が大坂冬の陣で築いた出城であり、戦国の荒波に立ち向かう真田家を一艘の船にたとえています。

私たちは、真田の絆で結ばれた『真田丸』の乗組員として、放映に向け教智を結集し、元気なまちづくりを進めたいと考えておりますので、引き続きの御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

NHK大河ドラマ日本一の兵
真田幸村公 放映の実現を願う会
上田商工会議所
上田観光コンベンション協会
上田市長
会長 宮下 茂
会頭 宮下 茂
会長 森 良則
市長 母袋 創一

第8回 NHKもう一つの真田丸 要望書

平成28年12月22日

日本放送協会

会長 梶井 勝人 殿

がんばれ東北！（東北の復興に向けて）



『(仮称) もう一つの真田丸 ～みちのく編～』

放 送 要 望 書

日本放送協会様におかれましては、公共放送として自主自立の精神のもと、健全な民主主義の進展と文化の向上、更には地域の豊かな発展のため御尽力を賜っておりますことに対し、心より御礼申し上げます。

さて、真田氏発祥の地である上田市民による真田一族の大河ドラマ実現を目指した『NHK大河ドラマ日本一(ひのもといち)の兵(つわもの)真田幸村公放映の実現を願う会』(以下「願う会」と致します。)の署名活動は、全国の真田ファンや真田ゆかりの地の皆様からの熱い御支援を賜り、署名総数83万人余を数えて要望させて頂きました。改めて、貴局の深い御理解と御英断に対しまして深く感謝申し上げます。

大河ドラマ『真田丸』は、戦国乱世にあつて、天才の父、秀才の兄の背中を追いかけてながら、真田の郷の一族とともに、迷い、悩み、苦しみながら成長していく信繁(幸村)公とその家族を一艘の船に例えた「愛と勇気」にあふれる珠玉の作品となりました。そして、その長い波乱の航海の集大成が、戦国時代最後にして、最強の山城である『真田丸』となります。

戦国という「弱肉強食」の混沌とした時代に、眩いばかりの「愛と勇気」で彩られる、かつてない大河ドラマの放送は、高視聴率となり、「早丸(BSプレミアム)」「本丸(総合テレビ)」「再丸(総合テレビ再放送)」の3回を御覧になる皆様もたいへん多いとお聞きしております。

ところで、大河ドラマ『真田丸』で示された「愛と勇気」は、大坂夏の陣での信繁(幸村)公最後の戦いで終結したわけではありません。その後、東北の地において、母船『真田丸』から新たな船出をした子船『みちのく真田丸』として、信繁(幸村)公から、新たな乗組員である阿梅姫、阿菖蒲姫、大八公、御田の方等その子女たちに託され、厳しくも美しい自然や心温かい人々と共に「愛と勇気」を紡ぐ航海を続けることとなりました。

私たち「願う会」は、東日本大震災から5年を経過しても、未だ復興の途上にある東北の地に「がんばれ東北！」の言葉を込めて、『みちのく真田丸』の舞台となる阿梅姫、阿菖蒲姫、大八公ゆかりの宮城県白石市、蔵王町、そして、御田の方ゆかりの秋田県由利本荘市の皆様とともに、この地に掲げられた真田昌幸公、信繁(幸村)公から引き継がれた真田魂『智(智の人は惑わず)・仁(仁の人は憂えず)・勇(勇の人は恐れぬ)』の旗の物語を、全国の皆様に、特別番組として放送して頂きたく要望いたします。

貴協会におかれましては、趣旨を御理解賜り、毎年、多くの視聴者に感銘を与え続ける大河ドラマの特別編として、国民一丸となった輝かしい東北の復興に向けた力強いエールとなるべき『真田一族の愛と勇気の終わらない物語』の放送実現に向けまして、格別なる御高配を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

NHK大河ドラマ日本一(ひのもといち)の兵(つわもの)
真田幸村公放映の実現を願う会

会 長	森 良 則
初代会長	母 袋 創 一
第二代会長	宮 下 茂
白石市長	山 田 裕 一
蔵王町長	村 上 英 人
由利本荘市長	長谷部 誠

NHK真田丸放映決定に伴う市民アンケート

該当されます箇所に丸印をしていただくか、ご意見をご記入いただきますようお願い申し上げます。

- 一 ご記入されます方の年齢について
A. 10代 B. 20代～30代 C. 40代～50代 D. 60代以上

- 二 ご記入されます方の性別について
A. 女性 B. 男性

- 三 真田丸の決定を受けてどう思われましたか
A. 感動した B. 良かった C. あまり関係がない

- 四 真田丸の放映によってどんなことを期待しますか。ありましたらご記入ください。

- 五 城下町および山城、古戦場、自然物など歴史的な雰囲気を感じさせる身近な場所や言い伝えがありましたらご記入ください。

- 六 大河ドラマ放映により大勢の観光客が予想されます。観光客が満足していただくにはどうしたら良いと思いますか。ありましたらご記入ください。

- 七 園児から高齢者までで構成する市民全員がおもてなしの心で取り組む観光ボランティアガイドの設置についてどう思われますか
A. 協力したい B. 協力したくない C. どちらでもない

- 八 大河ドラマ放映を機に変わって欲しいと思うことはありますか。ありましたらご記入ください

- 九 貴方は放映にあたり何か具体的にできることはありますか。また、何かしたいことがありましたらご記入ください

ご協力をいただきありがとうございました。

市民アンケート結果 要望書 (概略版)

平成 26 年 12 月 16 日

上田市長 母袋創一 様
上田商工会議所会頭 宮下 茂 様
真田丸推進協議会会長 宮下 茂 様
日本放送協会会長 靱井勝人 様

NHK大河ドラマ 日本一の兵
真田幸村公放映の実現を願う会
会長 森 良 則

NHK大河ドラマ 真田丸放送決定に伴う要望書

「NHK大河ドラマ 日本一(ひのもといち)の兵(つわもの)真田幸村公 放映の実現を願う会」(以下願う会)は2009年11月、城下町の趣を生かしたまちづくりを進めるため、熱き心と智恵を持った幸村公の大河ドラマ放映実現を目指して発足しました。

署名活動では上田市ならびに多くの市民の皆さまのご協力をいただき、国内外から83万人余の署名を集めることができました。さらに、今年5月には2016年に大河ドラマ「真田丸」放映が決定し、多くの方々の熱意が実を結びました。私たちは、この機会に真田一族ゆかりの地域間の交流が促進されるとともに、全国からの真田氏ゆかりの上田市を訪れる人が増え、地域経済活性化の起爆剤となることを期待しています。

今回のアンケート調査は、大河ドラマの放映が決まった今、願う会の設立趣旨である「城下町の香りが漂うまちづくり」に本格的に取り組むための第一歩として、市民の声を聞き、一緒に歩んでいこうとの狙いで全世帯を対象に実施しました。大河ドラマ「真田丸」の放映決定に対して8割以上の市民が「感動した」「良かった」と前向きに感じていることが分かりました。また、放映によって観光客の増加や地域経済の活性化を求める声もたくさん寄せられ、期待感の高まりが感じられます。

一方で、大勢の観光客を迎えるために駐車場やトイレなど整備の必要性や、中心市街地のにぎわい創出、市民自身がおもてなしの心をもって観光客と接したり真田氏について学んだりしなければいけないなどといった課題も多く浮き彫りになりました。

願う会としても、上田市を訪れた観光客に「もう一度来たい」と感じ、「真田」のみならず「上田」ファンになってもらえるよう、子どもからお年寄りまで市民全員が自分たちの暮らす街に誇りを持てるようなまちづくりを、引き続き行政と一体となって取り組んでいきたいと考えています。

つきましては、本書の市民の声を踏まえご検討いただきたく要望いたします。

NHK大河ドラマ真田丸放映決定に伴う 市民アンケート結果

1 調査について

アンケート対象	上田市 全世帯	期間	9月1日～11月末
---------	--------------------	----	------------------

上田市内 配布総数	56,042	第1次 回収数	13,394	回答率	23.9%
--------------	---------------	------------	---------------	-----	--------------

2 調査結果

(1) ご記入されます方の年齢について (問①)

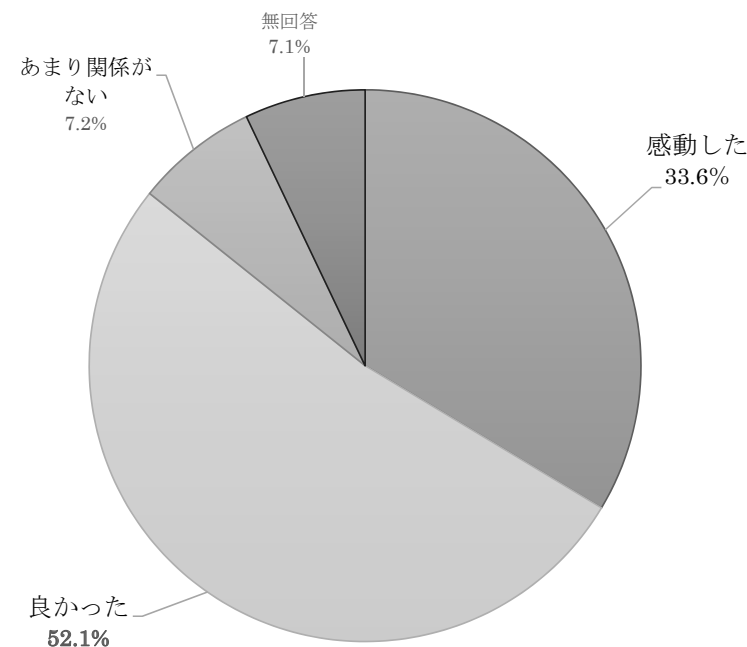
	10代	20～30代	40～50代	60代以上	無記入・ 重複回答
回答数	45	212	4,690	8,390	57
率	0.3%	1.6%	35.0%	62.7%	0.4%

(2) ご記入されます方の性別について (問②)

	女性	男性	無記入・重複回答
回答数	6,272	7,007	115
率	46.8%	52.3%	0.9%

(3) 真田丸の決定をうけてどう思われましたか。(問③)

	感動した	良かった	あまり 関係がない	無記入
回答数	4,503	6,980	963	948
率	33.6%	52.1%	7.2%	7.1%



「感動した」「良かった」と、真田丸放映決定を前向きに捉える回答が合計で8割を超えた。市民全体が真田丸の放映を待ち望むとともに、上田市にもたらされる好影響に期待していることが分かる。一方、「あまり関係がない」とする回答も一定数あり、今後、真田氏を生かした地域活性化を目指す上で、市民全体で取り組む気運を醸成するための工夫や努力が求められる。

(4) 真田丸の放映によってどんなことを期待しますか。

(問④の主な回答 自由記述)

- ・ 観光客の増加による経済効果。
- ・ 上田の知名度が飛躍的に上がる。
- ・ 中心市街地の活性化、移住者の増加。
- ・ 城下町らしい街づくり、お城（山城を含む）の整備、復元。
- ・ 歴史だけでなく、自然豊かで住みやすい地域の良さの発信。
- ・ 子どもからお年寄りまで、上田市民にとっても真田氏を見直すきっかけになる。

大河ドラマ放映によって真田氏に光が当たることが「上田市を知ってもらおう絶好のチャンス」などと、その故郷である上田市に注目が集まることを歓迎する声が目立つ。その結果として、中心市街地をはじめとした上田市全体の活性化、移住者増加による活力の向上、市民にとって住みやすいまちづくりの推進といった好循環になる期待が感じられる。また、実際に上田市で暮らす市民にとって、大河ドラマ放映にあたり故郷の誇るべき歴史である真田氏について見つめなおす機会になることを望む声も多かった。

(5) 城下町および山城、古戦場、自然物など歴史的な雰囲気を感じさせる身近な場所や言い伝えがあればご記入を。

(問⑤の主な回答 自由記述)

- ・ 真田氏所縁の上田城跡公園、真田町および市内の名所旧跡。
- ・ 合戦場の上田原、砥石米山城、神川、長瀬等の伝承。
- ・ 伝説上の人物である猿飛佐助や霧隠才蔵などのロマン。
- ・ 鹿教湯の真田姫、信幸（塩田）、信幸家来（大坂夏の陣）の墓など。
- ・ 眺望、景観の見所。

上田城跡公園内の真田井戸や川西の室賀に抜け穴伝説がある。市内には長谷寺、山家神社など真田氏所縁の史跡のほか真田地区の「馬隠し」丸子地区の「のぶちか」の地名が残っている。また、神科地区染屋の「豊染英神社」周辺は、第二次上田合戦における徳川秀忠軍が陣を張った場所とされている。

合戦場は、真田氏時代の神川や長瀬、武田信玄時代の上田原、砥石米山などがあったことから市民の歴史認識は高いものと思われる。伝説上

の人物である猿飛佐助や霧隠才蔵などに関わる地区もあり、ロマンを今に伝えている。

今後、観光客の入り込みが想定される中、マップ等での紹介や看板の設置を含めて地元との連携した対応が必要と思われる。

(6) 大河ドラマ放映により大勢の観光客が予想されます。観光客に満足していただくにはどうしたら良いと思いますか。

(問⑥の主な回答 自由記述)

- ・ 駐車場やトイレ、宿泊施設の充実。
- ・ 中心市街地の空き店舗の解消、活用、空き地（イトーヨーカ堂跡地など）の有効利用。
- ・ 城下町らしい町並みの景観の整備。
- ・ 道路にゴミが落ちていないよう清掃するなど市民のモラル向上。
- ・ 観光客がもう一度訪れたいくなるよう、市民自体がおもてなしの心を持ち、観光客に簡単な説明ができるような知識の取得。
- ・ 観光客にわかりやすい案内標識や観光パンフレットの作製。

駐車場やトイレの整備を求める意見が圧倒的に多く、多くの観光客を受け入れる態勢が不十分だと感じている現状が浮き彫りになった。また、観光客が訪れる中心市街地で目立つ空き店舗や空き地の活用を求める意見も多く、例えば上田ならではの食を提供したり、歩き疲れた観光客が休めるような場所を提供したりしてはどうかなどと提案する意見もあった。

行政に対しては、ハード面の整備だけではなく、市民自身がおもてなしの心を持ったり、モラルを向上させるなど、必要性を望む意見も目立った。特に、訪れた観光客に、真田氏や、上田市の歴史や特徴などを少しでも説明できるように準備することで観光客に喜んでほしいと考えている市民が多いことも分かった。

(7) 大河ドラマ放映を機に変わってほしいと思うことはありますか。

(問⑧の主な回答 自由記述)

- ・ 駐車場やトイレなどインフラの整備。
- ・ 鉄道やバスなど公共交通網の充実。
- ・ 一過性に終わらない、息の長い観光地化。
- ・ 子ども連れの家族でも楽しめるような体験施設や、食事処、お土産店などの整備。
- ・ 上田城周辺に点在する古い門構えや武家風の構造物、周辺の道路やたたずまいの整備。
- ・ 中心市街地だけでなく、周辺部を含めた地域振興や、歴史の掘りおこし。
- ・ 市民がより深く地域を愛し、より深く地域に結び付き、市民全体の力が高まってほしい。

観光立市を掲げる上田市として、大河ドラマ放映による一過性ブームへの対応ではなく、息の長い観光地化を図ってほしいと望む声が多く、そのために駐車場やトイレなどの受け入れ態勢、公共交通機関の充実などが求められていることが分かった。また、家族連れで遊べる体験型施設やウォーキングコースの設定、市観光会館などハード面の充実に向けた要望や提案も多く寄せられた。一方で、養蚕業など上田市にとって重要な歴史や、農産物など特産品にも注目が集まり、地域を超えて上田市全体に大河ドラマの好影響が広がるよう期待する意見も目立った。大河ドラマ放映を機に市民自身も自分たちが暮らす上田市に目を向け、愛着を持ち、暮らしやすいようなまちづくりを進めていくきっかけにしたいと考えている人も多かった。

(8) あなたは放映にあたり何か具体的にできることはありますか。また、何かしたいことはありますか。

(問⑨の主な回答 自由記述)

- ・ エキストラとしての出演及びボランティアとしての参加。
- ・ 観光客に親切に接する。
- ・ 観光客に聞かれた時のために真田氏や上田市の歴史について勉強する。
- ・ 観光客の案内ボランティア。
- ・ ブログや友人などを通じた宣伝。
- ・ 城下町風の街づくりに協力。

大河ドラマのロケが行われる際、エキストラやボランティアとして関わりたいとの意見が非常に多く、映画やドラマのロケ地として評価が高い地域の特性を表している。観光客に上田を好きになってもらうため、あいさつをしたり親切に接したりしようと考えている人も多く、そのためにも真田氏や上田市の歴史を改めて学びたいと希望する人が多いことも分かった。宣伝や街の清掃などに取り組むとする人も多く、市民自ら上田市の活性化のために何らかの形で関わり、協力したいと考えている人も多いことが明らかになった。

(9) 園児から高齢者までで構成する市民全員がおもてなしの心で取り組む観光ボランティア設置についてどうお考えですか。

(問⑦)

	協力したい	協力したくない	どちらでもない	無記入
回答数	5,626	1,280	4,886	1,602
率	42.0%	9.6%	36.4%	12.0%

願う会では、大河ドラマ放映により増加する観光客をおもてなしするため、市民全員が観光ボランティアになれるような活動の展開も一つの方法として考えている。城下町の趣を生かしたまちづくりを進めるためにも行政と市民が一体となった取り組みが求められる中、市民の4割以上がボランティア設置に「協力したい」と答えている現状は願う会の追い風になる。

ただ、「協力したくない」「どちらでもない」「無回答」といった消極的な回答も6割近くに上っており、まだ市民全体の気運を醸成しきれていない現状も浮き彫りになった。多くの市民の期待に応え、大河ドラマ放映のチャンスを地域活性化に生かすためにも、引き続き市民と行政が一体となって取り組んでいく姿勢が求められている。

地域の人が描いているねぶたの絵

家庭料理室に広がる大きなねぶたの絵



ねぶたの絵は、地域の人々が描いている。これは、地域の文化を伝えるための活動です。

上田地域自慢新聞

上田市立第三中学校 一年生組 高柳はるか

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

ねぶたと？ ねぶたの違い

ねぶた	ねぶた祭り
約100万円	約1000万円
平面的	立体的
武者	女性

ねぶたは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

編集後記

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

現在4千人も参加しているねぶた祭り

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

ねぶた祭りの六つの目的

1. 地域の文化を伝える
2. 地域の歴史を伝える
3. 地域の産業を伝える
4. 地域の観光を伝える
5. 地域の教育を伝える
6. 地域の健康を伝える

これぞ祭り 真赤なリッ

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

編集後記

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

なぜ？ ねぶた祭りを始めたの？

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

知らなかった！ ねぶた祭り

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

ねぶた祭りを始めたの？

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

編集後記

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

思い思いに書くねぶたの絵

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

上田の地域自慢新聞

上田市立第三中学校 一年生組 田中 侑

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

総勢4千名の 大行列

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

編集後記

ねぶた祭りは、地域の文化を伝えるための活動です。毎年進化しているねぶた祭りには、地域の人々が力を注いでいます。

※紙面の都合で全ての新聞を掲載できませんでした。

大河ドラマ『真田丸』放送にかかる主な事業の数値実績

大河ドラマ館設置（大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会調）

入場者数	1,035,208人	営業期間：平成28年1月17日（日）から 平成29年1月15日（日）
------	------------	---------------------------------------

NHK大河ドラマ特別展「真田丸」（市立美術館調）

入場者数	22,797人	開催期間：平成28年7月2日（土）から 8月21日（日）／火曜日休館
------	---------	---------------------------------------

市立博物館、南北櫓・櫓門

市立博物館入場者数

	入場者数	25年度比
平成25年度	51,124人	—
平成26年度	60,047人	117.5%
平成27年度	115,763人	226.4%
平成28年度（1月末現在）	275,233人	538.4%

南北櫓・櫓門入場者数

	入場者数	25年度比
平成25年度	69,763人	—
平成26年度	84,676人	121.4%
平成27年度	156,217人	223.9%
平成28年度（1月末現在）	314,960人	451.5%

駐車場 ※数値はいずれも1月末現在

上田城跡南駐車場（平成28年1月17日運用開始）	17,447台
上田城跡北観光駐車場（平成28年4月1日運用開始）	174,654台

池波正太郎真田太平記館

年 度	入場者数	25年度比
平成25年度	29,708人	—
平成26年度	31,729人	106.8%
平成27年度	43,686人	147.1%
平成28年度（1月現在）	51,355人	172.9%

真田氏歴史館（企画展内容）

年 度	入場者数	25年度比
平成25年度	25,353人	—
平成26年度	31,939人	126.0%
平成27年度	67,318人	265.5%
平成28年度（1月現在）	128,526人	506.9%

真田十勇士ガーデンプレイスの整備（商工課調）

平成28年3月26日オープン。（運営受託者：上田商工会議所）

来場者数合計 （1月現在）	イベント広場	
	回数	集客数
39,530人	60回	6,330人

・中心市街地歩行者通行量調査 ※のみ15地点の調査 他は21地点の調査

	H26	H27	H28
3月（日曜日）	14,753人*	18,167人	33,689人
10月（平日）	21,530人	21,965人	30,459人

まちなか循環バスの運行（交通政策課調）

運行日：毎日運行期間28年3月26日～5月8日、7月1日～8月31日、10月1日から11月13日、上記以外は土・日・祝日に運行

区 分	実 績	
平成27年度	乗車人員	6,280人（91日）
	乗車人員/日	69.0人/日
平成28年度 （1月現在）	乗車人員	31,998人（194日）
	乗車人員/日	164.9人/日

参考：上田駅周辺市営駐車場の利用台数（毎年度1月末実績）

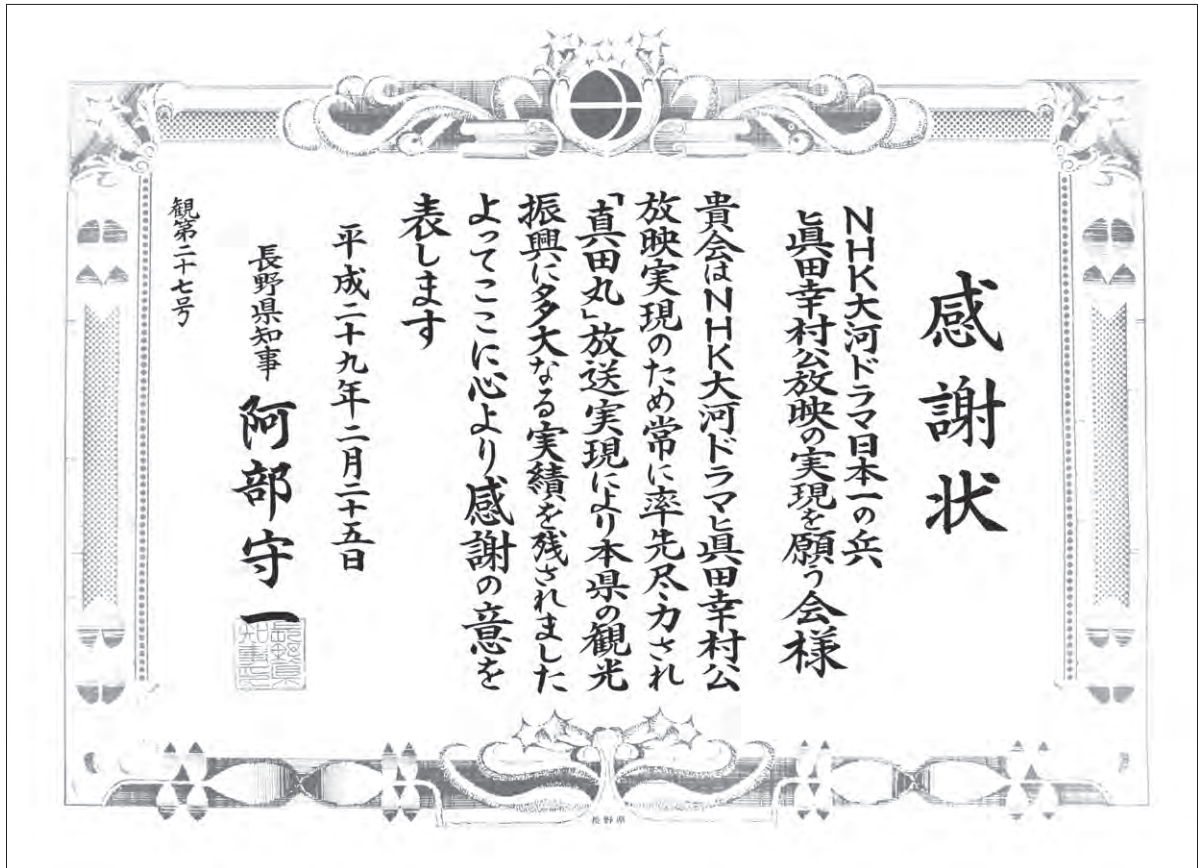
区 分	上田駅お城口駐 車場	上田駅お城口第 二駐車場	上田駅温泉口駐 車場
平成25年度	69,993台	155,690台	23,406台
平成26年度	74,536台	157,316台	24,590台
平成27年度	85,423台	174,399台	27,286台
平成28年度	89,404台	178,837台	29,122台

周遊観光バス運行（真田産業観光課調）

- ・ゆきむら夢工房を発着点として土・日・祝日等にバスを運行。
- ・運行期間：平成27年10月、11月、28年3月、平成28年4月から11月

区 分	実 績	
平成27年度	乗車人員	2,453人（30日）
	乗車人員/日	81.8人/日
平成28年度	乗車人員	22,088人（126日）
	乗車人員/日	175.3人/日

データ提供（上田市）



【受賞理由】 NHK大河ドラマの誘致のための署名活動や、真田幸村公出陣ねぶたなどのイベントを通じ、地域の知名度の向上やイメージアップに貢献し、市民協働による地域づくりの推進に尽力された。

ひのもといち つわもの
NHK大河ドラマ日本一の兵
眞田幸村公放映の実現を願う会

解 散 宣 言

日時：平成29年2月25日（土）14時
場所：JA信州うえだ本所3階大会議室

本日、ここに、『NHK大河ドラマ 日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）眞田幸村公放映の実現を願う会』の解散式を迎えることとなりました。

NHK大河ドラマ『真田丸』の実現を成し遂げた原動力は、紛れもなく上田市民の力であり、大河ドラマ放映要望活動を通じての一番の成果、それは、400年の時を越えて繋がった「眞田の絆」でした。この絆は、文字通り、眞田紐のごとく強靱なものとなりつつあります。

そして実現した大河ドラマ『真田丸』を見て強く感じたのは、言葉の持つ強さでした。

1年間を通じて、至極（しごく）の言葉が生まれ続けました。

『真田丸』最終話では、最後の戦いに挑む幸村公の「人の値打ちは、誰が決めるか。」との問いに、高梨内記は、「時でござる。」として、幸村公が続けて「どんな終わりを迎えてもか？」との問いに、「どのような人生の終わり方を迎えようとも、大事なものは、いかに生きたかでございますゆえ。」というセリフがありました。

誇り高い死を迎えるためには、常に誇り高く生きなければいけないという言葉です。

『真田丸』全編を通じて、生まれたひとつひとつの言葉には、大袈裟かも知れませんが、実体験に裏付けされた体温と体重が宿っていると感じました。

「事を為す。」という言葉がございます。

地域に計り知れない効果をもたらした大河ドラマ実現は、その「事」の序章に過ぎないと捉えています。

ポスト『真田丸』を見据えて、「434年前の昌幸公の築城に始まった城下町」がこれからも変わらず、高い市民力を持ち、伝統と風格を兼ね備えたまちとして、未来という「本舞台」で輝き続けるためには、「時流」という高波を常に真正面に受け止めながら、変わり続けることが必要だと感じています。

そして、「望みを捨てぬ者のみに、道は開ける。」

眞田魂の根幹は、まさに「決して望みを捨てないこと。」であり、常に本舞台を見つめ続ける目であると思っています。

大河ドラマ『真田丸』の航海の終わりは、新たな大航海への始まりです。

眞田の絆、眞田紐で結ばれた船団であるみちのく眞田丸、紀州眞田丸とともに「大博打の始まり！」の航海です。

眞田の郷（さと）に住む上田丸の乗船者一同の叡智を結集しながら、

「おのおの 抜かりなく！」

以上を申し上げて、NHK大河ドラマ 日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）眞田幸村公放映の実現を願う会の解散宣言といたします。

皆様、本日まで御支援、御協力ありがとうございました！


解散式に寄せられた真田氏所縁の地からのメッセージ

この度は、公務の都合により臨席が叶わず誠に申し訳ありません。待望の「真田丸」の放送が実現され高視聴率をもって完結いたしましたことは真田ゆかりの地である白石市にとっても大きな喜びであります。大河ドラマ実現という一大目標を完遂され貴会が解散されるのは誠に残念ではありますが、これからも歴史資源などの宝を大切に守り育てながら未来に繋げていただけるものと信じております。これまでの関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともにご参会の皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

平成二十九年二月二十五日

宮城県白石市長

山田裕一



NHK大河ドラマ日本一の兵真田幸村公放映の実現を願う会が貴会の念願を成就され、本日解散式を迎えられましたこと、真田氏ゆかりの自治体として心よりお慶び申し上げます。

大河ドラマ「真田丸」放送決定は、貴会の強力なリーダーシップなしには実現できなかったものであり、衷心よりお礼申しあげます。


今回の誘致活動及びドラマ放送を契機に全国の真田氏ゆかりの地の結束はさらに強固なものとなりました。九度山町として、今後も上田市をはじめとする全国の真田氏ゆかりの地の皆様と連携を密にし地域活性化にむけ全力で取り組む決意を表明させていただきます。

結びに貴会のこれまでのご尽力に改めてお礼を申し上げます。解散式へのメッセージとさせていただきます。

平成二十九年二月二十五日

和歌山県九度山町長

岡本



日本一（ひのもと）の兵（つわもの）真田幸村公放映の実現を願う会解散式メッセージ

関係各位の深甚なる取り組みと熱意により実現された、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映は、平均視聴率が十六パーセントを超え、終了後は「真田丸ロス」という言葉が社会現象になるなど、かつて無いほどの盛り上がりを見せたことについて、敬意と感謝を申し上げます。

上田と亀田の切っても切れない縁は、大阪冬の陣の後、母親である「隆清院」と幸村公の5女である「直」が京に難を逃れ、その後、佐竹義宣の弟の宣家に嫁いだことに始まります。

後に「直」は「御田の方」と呼ばれ、気高さを備え、薙刀の指南を務めるなど武芸にも優れており、自らの手で子どもたちを、優しくも厳しく育てたといわれております。

その慈愛に満ちた養育によって、名君として慕われた亀田藩三代藩主である岩城重隆公の賢母として、誉れ高い方であったと現在も語りつがれております。

今もなお多くのファンを魅了する真田家は、波瀾万丈の戦国の世にあって、その根底となるのは、このような愛情あふれる“人づくり”ではなかったのかと、思いを馳せているところでもあります。

そして、戦国の世と同様に「真田の絆」を大事にし、真田ゆかりの地としてお互いに手を携えて、真田の歴史とロマンを後世に継承するとともに、相互交流に取り組んでまいりたいと考えております。

本日は、ご案内をいただきましたが、公務により残念ながら出席できませんが、84万人の熱い思いが大願成就し、盛会裏に放映が終了したこと衷心よりお喜び申し上げます。

平成29年2月25日

秋田県 由利本荘市長 長谷部 誠

空前の真田ブームを巻き起こした大河ドラマ『真田丸』の終了からはや2ヶ月。大河ドラマ史における金字塔を打ち立てた傑作でした。貴会の長年にわたる地道な活動が豊かに結実したこと、真田氏ゆかりの18自治体の一員としてその努力に敬意を表するとともに、輝かしい功績を讃えたいと存じます。

貴会とわが町のお付き合いは、平成22年6月に貴会役員が来町され、協力を要請されたことに始まります。当時、わが町は真田の郷としてほぼ無名でしたが、署名活動がPRにつながり、全国に知られるようになりました。いくなれば、貴会の署名活動は『真田の郷・蔵王町』を生み出す原動力のひとつであり、大変意義深いものでした。

現在、わが町では、住民有志が『大河ドラマ真田丸スピンオフ企画「みちの編」実現を願う会』を発足させ、真田丸のその後を描くドラマの放映を目指す取組を始めています。今後とも行政・民間一丸となって貴会からのバトンを受け継ぎ、真田の郷として連携交流を進めて参りたいと考えております。

末筆ではございますが、各位の益々のご健康ご活躍をご祈念申し上げ、貴会解散にあたってのご挨拶とさせていただきます。

平成29年2月25日

NHK大河ドラマ『日本一の兵 真田幸村公』放映の実現を願う会
会長 森 良 則 様 会員 一 同 様

蔵王町長 村上 英 人

真田幸村公放映の実現を願う会
会長 森 良 則 様

「真田幸村公放映の実現を願う会 解散式・祝賀会」の開催を心からお慶び申し上げます

昨年放送のNHK大河ドラマ「真田丸」が大成功のうちに完結されましたことを心よりお祝い申し上げます。

姉妹都市・上田市のますますのご発展と、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

平成29年2月25日

鎌倉市長

松尾 崇
(まつい たかし)

発行日 平成29年3月

【編集・発行】

日本一の秋まつり

真田幸村公出陣ねぶた実行委員会

NHK大河ドラマ日本一の兵

真田幸村公放映の実現を願う会



真田丸

上田商工会議所青年部

創設30周年

鉄腕アトム

南町商店